平成28年度

東御市保健衛生

東御市健康福祉部健康保健課

東御市健康づくり宣言

東御市の豊かな自然環境のなかで、健康でこころ豊かに安心して 暮らすことは、私たちみんなの願いです。

自らの健康は自らつくることを基本に、市民が手を携えて、健や かに育ち健康を守る活動に取り組む必要があります。

ここに市民の総意により、元気を発信する健康長寿のまちを目指すとともに、次のことを提唱し、東御市は、健康づくりに邁進することを宣言します。

- 1 食生活を見直し、運動に親しみ、元気な身体をつくります。
- 1 禁煙や生活習慣など、家族みんなで健康について話し合います。
- 1 健康診査を毎年受け、自分の身体の健康を考えます。
- 1 仕事や家事の手を休め、こころのゆとりをつくります。
- 1 豊かな自然と共生し、みんなが住みよい環境をつくります。

平成19年11月22日

目 次

<	(保健統計>		
\bigcirc	健康保健課事業内容	•••	1
\bigcirc	人口動態・年齢別人口	•••	2
\bigcirc	出生の動向		3
\bigcirc	死亡の動向		4
\bigcirc	総人口及び国保被保険者数と健診受診者数	•••	6
\bigcirc	国民健康保険年齢階層別医療費の状況	•••	7
\bigcirc	後期高齢者医療保険の状況	•••	8
<	《保健事業報告》		
I	母子保健事業	•••	9
Π	生活習慣病健診等事業		
	特定健康診査・後期高齢者健康診査・健康診査事業	•••	15
	歯周疾患検診	•••	19
Ш	がん検診事業(胃・大腸・肺・子宮・乳房・前立腺)	•••	20
IV	感染症対策事業(予防接種、胸部レントゲン検診)	•••	32
V	精神保健福祉事業	•••	35
VI	食育推進事業	•••	38
VII	健康づくり事業	•••	41
VIII	保健補導員活動	•••	48
IX	その他(保健センター相談、ドック助成状況、健康づくり推進協議会、献血)	•••	51
<	(付 録 >		
1	特定健康診査・特定保健指導実施状況(平成28年度推計、平成27年度実績)	•••	53
2	食育推進事業実施状況	•••	57
3	運動指導等委託事業実績	•••	58
4	第2次東御市健康づくり計画「健康とうみ21」評価項目	•••	59
5	東御市国民健康保険 保健事業実施計画 (データヘルス計画) 評価項目	•••	63

平成 28 年度 健康保健課事業内容

「自らの健康は自らつくる」を基本に、市民が手を携えて健康を守る活動に取り組みます。 基本目標:共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち 重点事業

- 1 生涯を通じた健康増進の推進
 - ①特定健康診査・特定保健指導の充実
 - ②切れ目ない母子保健の充実
 - ③心の健康づくり事業の推進
 - ④食育推進計画の推進

- 2 健康づくり意識の高揚と推進体制の充実
 - ①健康づくり事業の推進
 - ・プラス10ミニッツ、健康マイレージの実施
 - ・5地区単位の健康状況の分析と報告
 - ②健康づくり計画「健康とうみ21」の推進

ライフステージ (H28年度の状況)	社会 環境	ライフステージに 応じた健康づくり	保健事業	関連する法律
妊娠届 218件		安全な妊娠の継続	母子健康手帳交付	母子保健法
出生 208人	*****	育児環境づくり	妊婦健診・妊婦訪問 もうすぐママパパ学級	子ども子育て支援法
乳幼児期	家庭	母子関係の確立 児への愛着形成	赤ちゃんすくすくブック配布 乳児 (新生児) 訪問	児童福祉法 児童虐待防止法
(0~6歳)		かかりつけ医を持つ	乳幼児健診・発達相談	発達障害者支援法
1,736人(5.7%)	*****	規則正しい生活リズム を身につける	離乳食教室 定期予防接種(乳幼児期)	食育基本法 予防接種法
学童期		正しい食習慣を身につ		
(7~12歳)		ける		
1,662人 (5.4%)		歯みがきを習慣づける	定期予防接種(学童期)	
\Box	学校	楽しく体を動かす		
思春期		自己管理力を養う		
(13~18歳)			思春期保健	
1,877人 (6.1%)		体を大切にする		
□	******	生について学び人生の		
青年期			不妊・不育症治療補助	fate who takes W. M.
(19~39歳)		生活習慣病を予防する ライフスタイルの確立	特定健康診査・特定保健指導	健康増進法
6,524人(21.2%)	サント		健康診査・健康相談・健康教育	高齢者医療確保法
	職場	ライフスタイルに合っ た運動の習慣化	重症化予防保健指導	国民健康保険法
│ 壮年期 │ (40~64歳) │			各種健康づくり事業 がん検診・歯周病検診	がん対策基本法 歯科口腔保健推進法
10, 125人(33.0%)			精神保健相談	精神保健福祉法
10, 123 (33. 0%)	*****	健康に働くためのここ ろと身体づくり	こころの健康づくり講座	自殺対策基本法
前期高齢期			ゲートキーパー人材育成講座	日权利水基本位
(65~74歳)		にする	7 () () () () () () () () () (
4,438人 (14.4%)		生活習慣を見直す	定期予防接種(高齢期)	予防接種法
\Box	地域	病気を予防する	 結核胸部レントゲン検診	感染症法
後期高齢期		生きがいを持つ		
(75歳~)		認知症・寝たきりにな	後期高齢者健康診査	高齢者医療確保法
4,354人(14.2%)		らない生活		介護保険法
死亡 361人		健康長寿		

※期別人口(割合) はH28.4.1現在(住民基本台帳) ※妊娠届、出生、死亡は平成28年4月~平成29年3月の件数

人 口 動 態

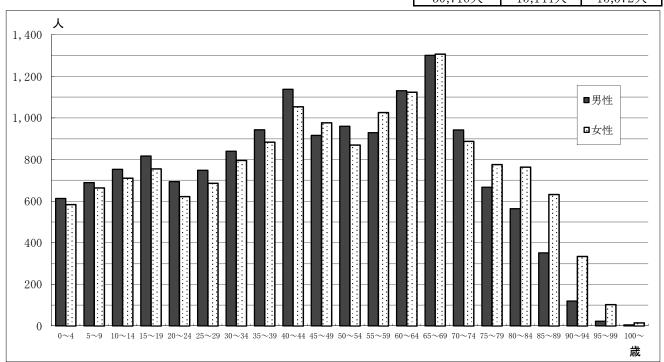
単位:人

				中世・ノ										
			人口	出生	死亡	自然	乳児 死亡	新生児 死亡	周産期	e no star	死産	_	婚姻	離婚
			10月1日現在			増加	グレー	9Ľ L	死亡	総数	自然	人工		
平	東御市	実数	30,696	238	317	-79	0	0	0	3	0	3	139	51
成	口面米	(率)		(7.8)	(10.3)	-(2.6)			(0.0)	(12.4)			(4.5)	(1.66)
22 年	長野県	実数	2,122,509	17,233	23,133	-5,900	25	14	62	395	181	214	10,318	3,636
+	及判示	(率)		(8.1)	(10.9)	-(2.8)	(1.5)	(0.8)	(4.9)	(22.4)			(4.9)	(1.71)
₹.	東御市	実数	30,525	243	343	-100	0	0	1	6	4	2	133	46
平成	口剛果	(率)		(8.0)	(11.2)	-(3.3)			(4.1)	(24.1)			(4.4)	(1.51)
23 年	長野県	実数	2,115,000	16,917	23,887	-6,970	32	19	49	370	172	198	9,985	3,443
+	文對景	(率)		(8.0)	(11.3)	-(3.3)	(1.9)	(1.1)	(2.9)	(21.4)			(4.7)	(1.63)
平	東御市	実数	30,337	239	383	-144	1	0	1	3	2	1	146	50
一成	米岬巾	(率)		(7.9)	(12.6)	-(4.7)	(4.2)		(4.2)	(12.4)			(4.8)	(1.65)
24 年	長野県	実数	2,106,000	16,661	24,474	-7,813	31	14	61	381	181	200	9,948	3,541
+	文判乐	(率)		(7.9)	(11.6)	-(3.7)	(1.9)	(0.8)	(3.7)	(22.4)			(4.7)	(1.68)
<u>17.</u>	東御市	実数	30,277	243	349	-106	1			5	2	3	141	46
平成	大野口	(率)		(8.0)	(11.5)	-(3.5)	(4.1)			(20.2)			(4.7)	(1.52)
25 年	長野県	実数	2,095,000	16,326	24,303	-7,977	36	16	59	379	169	210	9,933	3,420
+	文判乐	(率)		(7.8)	(11.6)	-(3.8)	(2.2)	(1.0)	(3.6)	(22.7)			(4.7)	(1.63)
平	東御市	実数	30,041	223	390	-167			1	7	6	1	117	44
成	口面大	(率)		(7.4)	(13.0)	-(5.6)	(0.0)	(0.0)	(4.5)	(30.4)			(3.9)	(1.46)
26 年	長野県	実数	2,083,000	15,848	24,751	-8,903	23	10	49	341	161	180	9,514	3,279
+	以 书 尔	(率)		(7.6)	(11.9)	-(4.3)	(1.5)	(0.6)	(3.1)	(21.1)			(4.6)	(1.57)

※資料:長野県衛生年報

年齢別人口

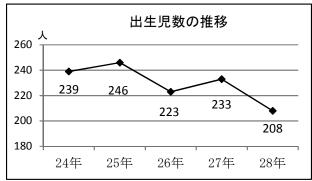
(平成28年4月	1日現在:住	民基本台帳)
総人口	男性	女性
30.716人	15.144人	15.572人

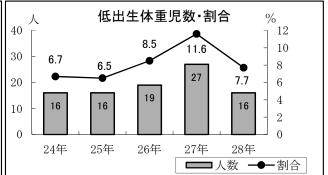


出生の動向

【平成28年1月1日から12月31日】

1 出生児・低出生体重児の状況





2 出生児の体重の状況

単位:人

年	総数	2500g未	満(低出生化	本重児)	2500~	3000∼	3500∼	4000以上
+	心奴		~1999	2000~2499	2999	3499	3999	4000以上
24年	239	16	3	13	106	95	21	1
25年	246	16	4	12	106	101	20	3
26年	223	19	4	15	78	106	18	2
27年	233	27	3	24	102	83	21	0
28年	208	16	3	13	90	89	13	0

3 出産時の女性の年齢

単位:人

年	総数	20歳未満	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上
24年	239	3	26	60	87	51	11	1
25年	246	3	36	70	80	43	12	2
26年	223	6	27	60	72	48	10	0
27年	233	3	15	61	80	61	13	0
28年	208	3	17	57	67	50	12	2

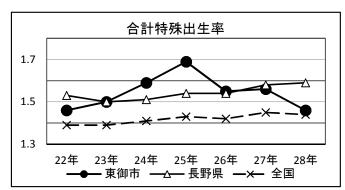
4 出生児の状況

単位:人

年	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上
24年	239	96	87	46	7	3
25年	246	112	86	37	7	4
26年	218	96	84	34	4	0
27年	233	93	90	37	9	4
28年	208	75	90	32	9	2

5 合計特殊出生率の推移

0 口口付	が山土ギッ	771年/197	
年	東御市	長野県	全国
22年	1.46	1.53	1. 39
23年	1.50	1.50	1. 39
24年	1. 59	1.51	1.41
25年	1.69	1.54	1. 43
26年	1.55	1.54	1.42
27年	1.56	1. 58	1. 45
28年	1. 46	1. 59	1. 44



※1 27年、28年は概数値のため、修正される場合もある。

※2 市の率は、毎月人口異動調査(10月1日現在。国勢調査の年は国勢調査)の人口で計算。

(東御市出生届、長野県衛生年報及び厚生労働省人口動態統計月報年計(概数)による)

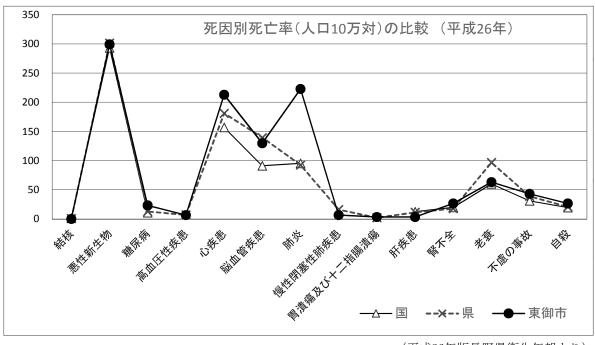
死亡の動向

【平成28年1月1日から12月31日】

1 死因別死亡者数

順	位(前年)	死亡原因		人数	別人数)	65歳未満の 者の割合	
	(刊十)					D -> D1	
1位	1位	悪性新生物	94	男 /	55	11.7%	
			-	女	39		
2位	2位.	肺炎	76	男	40	1.3%	
.—	·	.,,,,,		女	36	,	
3位	3位	心疾患	63	男	25	1.6%	
0 11.	0 112		00	女	38	1. 0/0	
4位	4位	老衰	31	男	8	0.0%	
4111.	4111.	七衣	31	女	23	0.0/0	
<i>□ (</i> -;-;-	<i>□ [</i> -}-	w A 答 広 电	9.4	男	13	1.6 70/	
5位	5位	脳血管疾患	24	女	11	16. 7%	
0.14	0.44	₩マ ナ 人	0	男	4	0.00/	
6位	9位	腎不全	8	女	4	0.0%	
0.11.				男	5	10 =0/	
6位	9位	大動脈瘤及び解離	8	女	3	12.5%	
		t .cm		男	5	.,	
8位	8位	自殺	7	女	2	85. 7%	
				男	2		
9位	6位	不慮の事故	6	女	4	16. 7%	
				男	4		
9位	7位	敗血症	6	女	2	33.3%	
				男	26		
		上記以外	45	女	19	6. 7%	
÷I.			<u> </u>	+			
計			368	男	187	8.2%	
			300	女	181		

(東御市死亡届より)



(平成26年版長野県衛生年報より)

2 65歳未満の死因別死亡者数

【平成28年1月1日から12月31日】

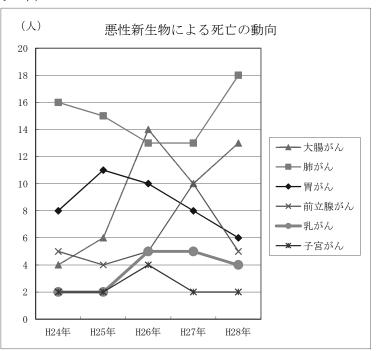
順	位	死 因	人数	(男女	女別)
	(前年)	9L 🖸	八奴	男	女
1位	1位	悪性新生物	11	8	3
2位	3位	自殺	6	4	2
3位	4位	脳血管疾患	4	4	0
4位	ı	敗血症	2	1	1
		上記以外	7	6	1
	Ē	计	30	23	7

3 悪性新生物による死亡の動向(平成28年)

(1)がん検討	(1)がん検診対象のがん (人)							
	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年			
大腸がん	4	6	14	10	13			
肺がん	16	15	13	13	18			
胃がん	8	11	10	8	6			
前立腺がん	5	4	5	10	5			
乳がん	2	2	5	5	4			
子宮がん	2	2	4	2	2			
計	37	40	51	48	48			

(2)その他のがん

	H28年
すい臓がん	10
肝がん	9
胆のうがん	5
悪性リンパ腫	5
食道がん	4
その他	13



4 脳血管	<u> ぎ疾患による死亡者の</u>	内訳(平成28年)	○ 65歳未満	55歳以上
	脳梗塞	脳出血	クモ膜下出血	その他
男		•••	000	
J	5 人	3 人	4 人	1 人
	•••••	••	•	••
女				_

5	心疾患	息による死亡者の内訳 (平成28年)	○ 65歳未満 ● 6	55歳以上
	νĽ	が筋梗塞	心不全	その他
	男	9人	16 人	0 人
	女		25 人	4 人

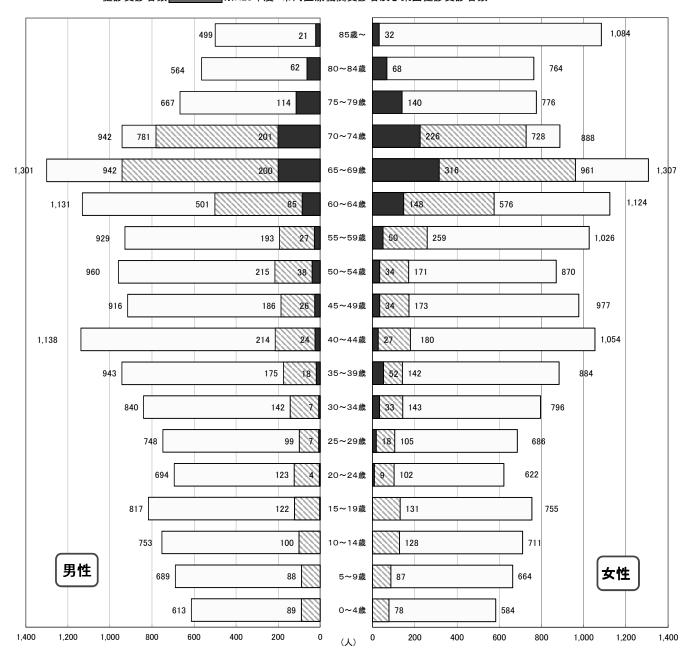
(東御市死亡届より)

東御市 年齢階層別人口及び国保被保険者数と健診受診者数 (H28年度)

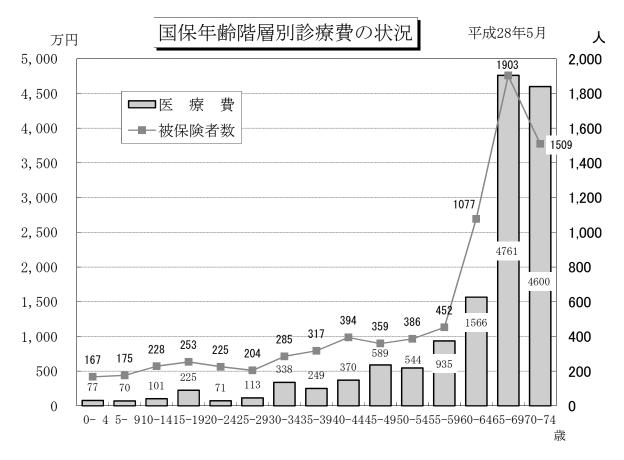
人口 ※平成28年4月1日現在 住民基本台帳

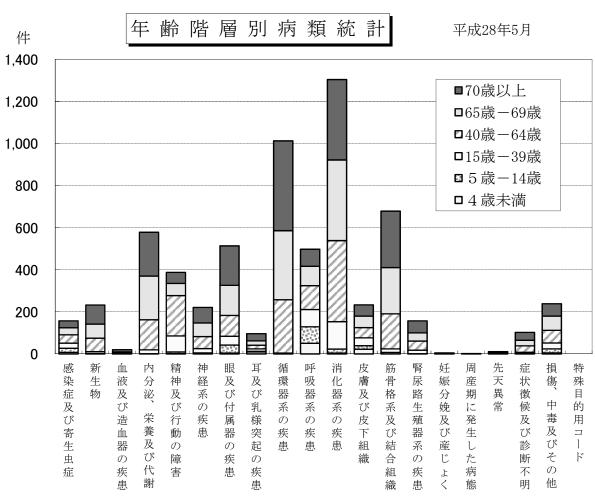
国保被保険者数 ※平成28年5月現在 (※75歳以上は後期高齢者医療保険被保険者)

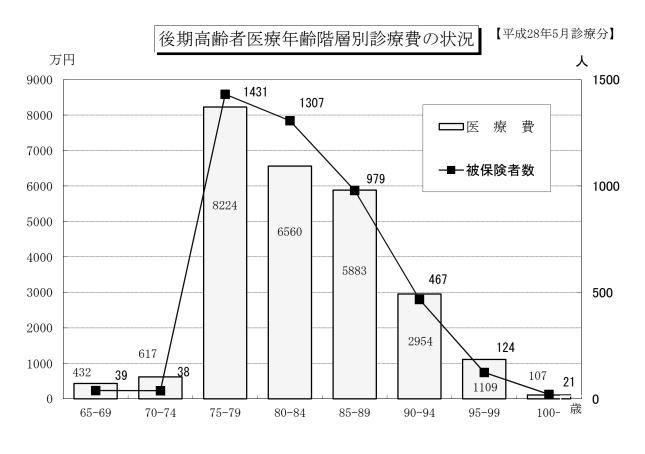
健診受診者数 ※H28年度 市内医療機関受診者及び集団健診受診者数

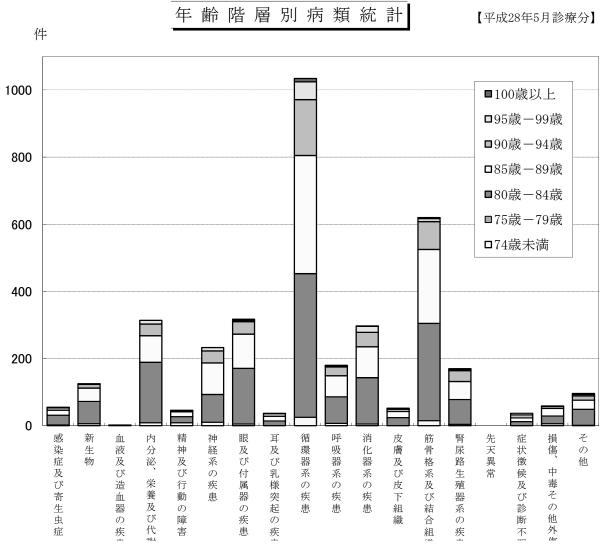


	男	女	合計
総人口	15,144人	15,572人	30,716人
国保被保険者数	3,970人	3,964人	7,934人
健診受診者数	836人	1,187人	2,023人
総人口に占める国保被保険者数	26.22%	25.46%	25.83%









I 母子保健事業

1. 妊娠届と母子健康手帳交付

目 的:母子保健法に基づき、妊娠の届出のあった妊婦に対し妊産婦と胎児の健 康管理及び子どもの成長を記録するために母子健康手帳を交付し、妊婦 保健指導を行っています。

<妊娠届(手帳交付)の状況>

届出時妊娠週数	~満 11 週	満 12~19 週	満 20 週~	計
届出・新規交付件数	205 件	9件	4件	218 件
再交付等件数(事由:	分失、汚損、海	外出産見込者~	への交付)	4件

2. 妊婦一般健康診査受診票の交付

目 的:妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出 産ができるようにするため、交付しています。

内 容: 平成28年度は基本健診14回分、追加検査5回分、超音波検査4回分 を公費負担しました。

県外医療機関受診者には、償還払いにより補助金を交付しました。

検 査:基本健診 問診・診察、血圧・体重測定、尿化学検査(毎回実施) 追加検査 血液型、血算、血糖、B型・C型肝炎抗原検査、HIV 抗体 価検査、梅毒血清反応検査、風疹ウイルス抗体価検査、子宮頸がん検 診、GBS(B 群溶血性レンサ球菌)

<受診票交付結果>

健診・検査	受診票発行数	年度中受診数
基本健診 (14 回)	3,208 枚	2,694 回
追加検査 (5回)	1,141 枚	1,002 回
超音波検査(4回)	909 枚	822 回
県外医療機関受診者		6 人

3. 妊婦歯周疾患検診

目 的:妊娠期間中の口腔機能の維持、改善を図ることにより妊婦の適切な栄養 摂取を促し、母体の健康及び胎児の健全な発育を保持します。

対 象:全妊婦(安定期である妊娠5~7か月を目安)

内 容:妊娠届出時に受診券交付、市内歯科医で受診します。自己負担 500 円 受診券発行数 :306 枚(うち平成 27 年度中に妊娠届出書提出者 88 人は郵送)

年度中受診者数:60人

4. 妊產婦相談訪問

目 的:妊娠から出産、育児において切れ目ない支援を行うことで、妊婦の心身 の安定と共に乳幼児の虐待防止を図ります。

内 容:妊娠届を提出した妊娠 4ヶ月~8ヶ月の妊婦を対象に自宅訪問します。 妊娠経過と妊娠に伴う体調の変化の確認、妊婦健診・歯周病検診の受診 確認及び勧奨、妊娠中の家庭環境・出産後の育児環境・支援者の有無の 確認、妊娠中の体調管理、出産・育児の準備等に係る保健指導の実施

訪問数:67件 電話相談:19件 ママパパ学級時相談(4回実施):3件

5. もうすぐママパパ学級

- 目 的:①妊娠、出産、育児について正しい知識の習得と、これからの子育てに 対する積極的な姿勢を養い、子への愛着形成を図ります。
 - ②妊娠期の食生活・栄養について正しい知識を学び、胎児期・妊娠期からの生活習慣病予防を意識づけ、良好な生活習慣の確立を支援します。
 - ③保健師(相談窓口)と母親、同世代の子を持つ親同士のつながりを形成し、子育ての孤立化防止と不安の軽減を図ります。

参加率

参加者

対 象:全妊婦(出産予定7月~翌年6月)及びその家族

₹		4444	対象者			П .Д.			
参加》	人亿	(前年)							
妊 妓	帚	207	85	44	21.3%	25.0%			
うち衫	刃産婦	77	53	28	36.4%	49.3%			
家力	疾		38	30	_	_			
内容:	内 容:1コース3回で年間4講座開催(5月・8月・11月・2月)								
口			主なを	勺 容		スタッフ			
	<妊娠	長中の生活	を快適に過ご	すために>		保健師			
第1回	妊娠	長の経過	・妊娠中の	生活、異常と	対策	助産師			
	・分娩	色の経過				保育士			
第2回	<赤ち ・1日 ・鉄分 ・簡単	保健師 栄養士 保育士							
第3回	授乳	生理と過 上方法と乳』 この心身の3		・家族計 ・沐浴方		保健師 助産師 保育士			

6. 育児教材の配布・活用

目 的:子どもの発達成長への理解を深め育児の参考にしていただくため、育児 の教材媒体として「赤ちゃんすくすくブック」を作成し、出生届を提出 した保護者宛郵送しています。

内 容:子どもの発達・離乳食の進め方・ふれあい遊びのすすめ・健診のおたず ね票・予防接種について・予診票等

7. 乳児(新生児)母子訪問

目 的:乳児の発育・発達の確認、母親の育児支援を行っています。

内 容:体重測定、発達・発育の確認、乳幼児健診と予防接種の説明、赤ちゃん すくすくブックの内容紹介、育児相談、母親の健康相談と EPDS (産後 うつ病スクリーニング) 実施

訪問数:203人(うち市外依頼児3件・外国人3件) 市外者里帰り訪問7件 外国人母子には生活安全係通訳の訪問同伴により対応しました。

8. 未熟児養育医療の給付

目 的:身体の発育が未熟なまま生まれたため、医師が入院を必要と認めた乳 児の治療費の一部を負担します。

対 象:入院を必要とする未熟児(乳児)

受給者:5人 延べ件数:10件 給付額(扶助費):936,492円

9. 乳幼児健康診査

目 的:発育発達の評価と疾病・障がいの早期発見、う歯の早期発見、母親の育 児支援を行っています。

(1) 4か月児健診

内 容: 問診、小児科・整形外科診察、身体計測、育児相談、育児交流会 スタッフ: 小児科・整形外科医師、保健師、看護師、助産師、(栄養士)

<4 か月児健診 小児科診察結果>

年度	対象者	受診者	受診率	所見あり	要精密検査者	精密検査実施率
十及	(人)	(人)	(%)	(人) 重複有	(人)重複有	(%)
25	241	228	94.6	37 (16.2%)	7 (3.1%)	85.7
26	230	224	97.4	41 (18.3%)	8 (3.6%)	50.0
27	239	235	98.3	28 (11.9%)	7 (3.0%)	85.1
28	200	198	99.0	23 (11.0%)	2 (1.0%)	100.0

(2) 10か月児健診

内 容:問診、内科診察、身体計測、ブックスタート事業、集団教育(こと

ば・歯科)、育児相談、個別栄養相談、歯科相談

スタッフ: 内科医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、図書館司書

<10 か月児健診 内科診察結果>

左庄	対象者	受診者	受診率	所見あり	要精密検査者	精密検査実施率
年度	(人)	(人)	(%)	(人) 重複有	(人)重複有	(%)
25	236	229	97.0	13 (5.6%)	2 (0.8%)	50.0
26	239	226	94.6	36 (15.9%)	3 (1.3%)	0.0
27	231	227	98.3	14 (6.2%)	2 (0.9%)	100.0
28	229	224	97.8	16 (7.1%)	1 (0.4%)	100.0

(3) 1歳6か月児健診

内 容: 問診、内科診察、歯科検診、身体計測、集団教育(ことばのビル・

食事)、育児相談、栄養相談、個別歯科相談、RDテスト、心理・

言語相談

スタッフ:内科医師、歯科医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、

保育士

<1歳6か月児健診 内科診察結果>

年度	対象者	受診者	受診率	所見あり	要精密検査者	精密検査実施率
干及	(人)	(人)	(%)	(人) 重複有	(人)重複有	(%)
25	244	240	98.3	60 (25.0%)	3 (1.2%)	100.0
26	252	242	96.0	58 (20.7%)	4 (1.7%)	50.0
27	231	231	100.0	54 (23.4%)	4 (1.7%)	100.0
28	215	209	97.2	56 (26.8%)	6 (2.9%)	100.0

<1歳6か月児健診 歯科診察結果>

左座	対象者	受診者	受診率	う歯保有率	むし歯のない幼児の
年度	(人)	(人)	(%)	(%)	割合 (%)
25	244	240	98.3	1.2	98.8
26	252	242	96.0	0.4	99.6
27	231	231	100.0	2.2	97.8
28	215	209	97.2	1.4	98.6

(4) 2歳児歯科健診

内 容:問診、歯科診察、集団教育(だだこね)、絵本の読み聞かせ、歯科

染め出し・ブラッシング指導、育児相談、栄養相談

スタッフ:歯科医師、保健師、看護師、(栄養士)、歯科衛生士、図書館司書

<2 歳児歯科健診 結果>

左座	対象者	受診者	受診率	う歯保有率	むし歯のない幼児の
年度	(人)	(人)	(%)	(%)	割合 (%)
25	240	213	88.7	6.5	93.5
26	257	233	90.7	3.0	97.0
27	239	225	94.1	4.8	95.2
28	222	206	92.8	4.9	95.1

(5) 3歳児健診

内 容:問診、内科診察、歯科診察、視力検査、尿検査、身体計測、集団教

育(生活リズム)、育児相談、栄養相談、歯科相談、心理相談

スタッフ:内科医師、歯科医師、保健師、看護師、栄養士、視能訓練士、

歯科衛生士、保育士

<3 歳児健診 内科診察結果>

左座	対象者	受診者	受診率	所見あり	要精密検査者	精密検査実施率
年度	(人)	(人)	(%)	(人) 重複有	(人)重複有	(%)
25	253	245	96.8	47 (19.1%)	36 (14.6%)	80.5
26	253	248	98.0	42 (16.9%)	40 (16.1%)	75.0
27	257	241	93.8	43 (17.8%)	37 (15.4%)	78.4
28	250	246	98.4	37 (15.0%)	26 (10.6%)	80.8

<3 歳児健診 歯科診察結果>

年度	対象者	受診者	受診率	う歯保有率	むし歯のない幼児の
年度	(人)	(人)	(%)	(%)	割合 (%)
25	253	245	96.8	20.4	79.6
26	253	248	98.0	14.9	85.1
27	257	241	93.8	15.6	84.4
28	250	246	98.4	13.4	86.6

10. 教室・心理相談・言語相談・発達相談

(1) 離乳食教室(各月1回開催)

目 的 :離乳食初期から後期にかけての学習や試食を通じ、好ましい食習慣

の形成と食の適切な進め方を学びます。赤ちゃんとの遊びを通じて

母子間の愛着形成を支援しています。

内容:赤ちゃん体操・あそびの紹介・歯と口腔機能について・離乳食の進

め方と試食・個別相談等

スタッフ:保健師・栄養士・歯科衛生士・食生活改善推進員

実 績 : ごっくん離乳食教室(満5か月児) 参加者 155人(74.9%)

もぐもぐ離乳食教室(満8か月児) 参加者 154人(73.3%)

(2) 各種相談

目 的:お子さんの心身の発達について専門家が相談に応じ、医療、福祉等の 必要とされるサービスにつなげます。

名称	相談員	内 容	開催	実績
心理相談	心理発達相談員	発達や育児に関する相談	月2回	延 39 人
言語相談	言語聴覚士	ことばに関する相談	月1回	延 31 人
発達相談	小児科医	発達に関する専門相談	第3水曜日	19 人

11. 不妊・不育症治療費補助金交付事業

目 的:不妊治療、不育症治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減します。

対 象:保険適用外の治療にかかる経費

補助率:対象経費の 1/2 以内(上限 20 万円/年×最長 5 年)

<実 績>

左连	+□ ⇒火	不	妊 (人)	不育	育症 (人)	補助額			
年度	相談	交付	うち新規	交付	うち新規	(円)			
26	15	13	10	_	_	558,954			
27	18	17	11	0	0	1,666,032			
28	22	22	14	0	0	2,157,588			
亚战 18	平成 18~98 年度 思計・補助 86 件 (宝 61 人)・子の出生 99 人 出産予定 4 人								

(H29.3 月末現在)

12. 思春期保健事業

(1) 中学3年生へぴあによる健康教育の開催

目 的: ぴあという同じ世代の仲間と価値観を共感・共有しながら、将来への進

路や生き方について自己決定能力を高める学習を深めます。

実績:2月17日 49名 北御牧中学校

Ⅱ 生活習慣病健診等事業

1. 特定健康診査・後期高齢者健康診査・健康診査

特定健康診査(以下、特定健診)は、平成20年4月から、高齢者の医療の確保に関する 法律第20条により実施するもので、市が40歳~74歳の国民健康保険加入者を対象として、 メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健康診査を毎年度計画的 に実施するものです。

また、特定健診は生活習慣病健診である事から、市独自の事業として、より早期に生活習慣の改善を図るため、全市民を対象に若い世代からの健康診査を実施しています。

(1) 健診の種類と受診状況(いずれもH29.5.2現在の受診確認状況)

•特定健診(40~74歳東御市国保加入者)

2,202人

(特定健診1,470人 人間ドック732人)

・後期高齢者健診 (後期高齢者医療に加入している者で申込者)

573人

(後期高齢者健診402人 人間ドック171人)

・健康診査 (19~39歳の申込者)

150人 (国保52人・国保以外98人)

健康診査(被生活保護世帯で申込者)

9人

(2) 受診券の発行(特定健診・後期高齢者健診・健康診査)

健診対象者に対する意識づけ、健診機関における受診者資格の確認、重複受診の防止、健診費用・利用者負担金額の確認等を目的に発行しています。平成24年度から(公財)長野県健康づくり事業団に作成を委託しています。なお、人間ドック補助申請の際には、受診券を回収し、重複補助の無いよう配慮しています。

- •特定健診受診券発行件数 6,045件 (再発行件数:20件、追加発行件数:108件)
- •後期高齢者健診受診券発行件数 823件 (追加発行件数:22件)
- •健康診査受診券発行件数 642件 (追加発行件数:39件)

(3) 健診の方法

① 個別健診実施

平成23年度から家庭医制度定着のため、かかりつけ医で健診・即治療ができるよう、 県医師会と集合契約を締結し、6月から1月まで市内外の指定医療機関で受診ができま す。市内指定医療機関では、前立腺がん検診・大腸がん検診の同時実施が可能です。

② 集団検診実施

平成26年度から受診機会の確保のため、信州うえだ農業協同組合・佐久浅間農業協同組合との共催による集団検診を実施しています。

特定健診 253件、後期高齢者健診 28件、健康診査 2件

「 H28. 11/16・17 ラヴェリテ・保健センターH29. 2. 8 滋野コミュニティーセンター‐

L H28. 12. 21 北御牧公民館 H29. 2. 9 和コミュニティーセンター

· 詳細健診:心電図(受診者数43人)、眼底検査(受診者数22人)

・ 追加健診:微量アルブミン尿検査(受診者数 61人)

・ 二次健診:糖負荷検査(受診者数 30人)、頚動脈エコー検査(受診者数 7人)

(4) 医療機関や個人からの検査結果データ提供に対する補助

治療中のため、健診項目を医療で実施している方については、検査結果の情報提供を していただき、特定健診受診者として計上しています。

検査結果提供の医療機関には委託料を支払い、個人からの検査結果提供については、 東御市商工会リブカードを贈呈しています。

検査結果データ提供者:273名

2. 特定保健指導・保健指導

特定保健指導および保健指導の対象者は、特定健診の結果により、腹囲・肥満度に加え 追加リスク(血糖・脂質・血圧、喫煙)の個数により、動機付け支援・積極的支援・情報 提供の3種類に対象者を階層化し、実施しています。

特定保健指導は、動機付け支援・積極的支援の対象者に実施し、保健指導は情報提供の対象者に実施しています。

特定保健指導・保健指導の内容は、対象者自身が健診結果を理解し、体の変化に気づき 自らの生活習慣を振り返り、生活習慣を改善するための行動目標を設定するとともに、自 らが実践できるように支援し、そのことにより対象者が自分の健康に関するセルフケア (自己管理)ができるようになることを目的としています。

平成24年度から、個別健診受診者の動機付け支援・積極的支援の特定保健指導の一部を 市内医療機関に委託しています。平成28年度からは、個別健診受診者の特定保健指導(集 団指導)を、(公財)身体教育医学研究所に実施委託しています。

(1) 特定保健指導

保健師・管理栄養士が、特定健診受診後、対象者に初回面接・継続支援・評価保健指導を実施しています。

- ① 積極的支援の保健指導:対象者51人のうち32人に訪問面接実施 対象:腹囲+リスク2つ以上・腹囲正常でもBMI25以上+リスク3つ以上
- ② 動機づけ支援の保健指導:対象者108人のうち86人訪問面接実施対象:腹囲+リスク1つ、腹囲正常でもBMI+リスク1~2つ 65歳~74歳で積極的支援対象者は動機づけ支援として対応
- ③ 6か月評価保健指導:対象者190人のうち146人に評価実施 上記①及び②の対象者に対し、初回面接実施6ヵ月後に、保健師・管理栄養士が体 重、腹囲、血圧、生活習慣改善の有無等について確認しています。

(2) 保健指導

積極的支援・動機付け支援以外の情報提供者に対する保健指導を実施しています。 対象者自らが健診結果から身体状況が認識でき、生活習慣を見直すきっかけとなるよう 保健師・管理栄養士が経年表・構造図などの資料を利用して健診結果と生活の結びつき について説明し、生活習慣や健診結果から将来予測がイメージできるように情報提供し ています。また、医療機関への受診勧奨や服薬の重要性、継続した健診の必要性等対象 者に合わせた保健指導を実施しています。 特定健診受診(人間ドック受診者・検査結果データ提供者を含む)者で、情報提供対象者 2,282人のうち、面接・訪問・電話等必要に応じて実施しました。

① 重症化予防

糖尿病合併症・脳血管疾患・心臓病・透析等を未然に防ぐ保健指導を行っています。 対象:高血圧・糖尿病コントロール不良、未受診者など(重症化予防事業参照)

- ○H28年度受診者で、個別・集団・窓口等で把握した重症化予防対象者:84人
- ② 慢性腎臓病 (CKD) 予防
 - CKD (慢性腎臓病)の発症・進行を予防し、将来的に人工透析導入者を減少対象:主にeGFR50未満または尿蛋白 (++) 以上、微量アルブミン尿検査陽性者等 ○市内医療機関にて特定健診を受けた者のうち、CKD予防対象者:53人
- ③ 二次健診 (75g糖負荷検査・頸動脈超音波検査) 受診者への保健指導 血糖値やインスリン分泌の状態と生活習慣を関連付けてみることで、生活習慣を改善し、将来的に糖尿病などの生活習慣病を予防するために実施しています。
- ④ 健康診査受診者・後期高齢者健診受診者への保健指導 若い世代からの生活習慣病予防、後期高齢者の保健指導も実施しています。 対象:19~39歳までの健康診査受診者および後期高齢者健診受診者への保健指導

3. 重症化予防事業

重症化予防事業は、血管障害による疾病の重症化予防および慢性腎臓病予防により、市民の健康の保持・増進および生活の質の維持、ひいては医療費の適正化を図るために、平成28年度に特定健診を受診した者のみでなく、過去の結果から、必要な者に対して継続的に保健指導を実施しています。また、平成28年度に「糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、糖尿病に着目した重症化予防事業を開始しました。

<事業内容>

①対象者の選定

平成22年度の統計より、全国及び県と比較して東御市の脳血管疾患による死亡が多いことから、高血圧者を減少させることで脳血管疾患で死亡する者を減少させる効果が期待できるため、平成26年度から高血圧を重症化予防の重点とし、平成21年度以降健診結果が、II 度(160/100)以上高血圧だった者を選定して保健指導を実施し、継続して関わることで対象者の血圧の安定化を目指しました。

また、高血圧以外であっても受診勧奨値以上の重症者については保健指導を実施しています。

- ○Ⅱ度以上高血圧継続支援対象者数:358人
- ○H28年度II 度以上高血圧者数:63人(継続支援者と重複あり)
- ○主にeGFR50未満または尿蛋白 (++) 以上のCKD継続支援対象者数:240人

糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って、平成23年度以降健診結果がHbA1c7.0以上の者を選定してアンケートを送付して保健指導を実施しました。糖尿病の治療状況を確認し、糖尿病性腎症重症化予防を目指しました。

○糖尿病性腎症重症化予防対象者:71人

②保健指導

訪問、電話連絡等により対象者の状況把握を実施し、それぞれに合った資料を 活用して健診受診、治療継続の必要性及び生活習慣改善の重要性等を指導しています。

- ○Ⅱ度以上高血圧保健指導実施者数:78人
- ○糖尿病性腎症重症化予防保健指導実施者数:42人

③評価

検査結果の安定が図られた者の増加、保健指導によって治療に結びついた者の増加、 保健指導によって生活改善を行っている者の増加等を持って評価します。

4. 訪問 · 相談実績等

生活習慣病予防相談(延人員)	特定健診·保健指導等	健康増進事業
保健師が実施した相談	896	2, 695
管理栄養士が実施した相談	656	594

5. 受診率向上に向けての取り組み

- ①受診勧奨の方法
 - ・受診券を対象者に送付・または保健補導員に配布依頼。
 - はがきによる勧奨。

(健診、ドック、治療中の検査結果提供等希望に応じた案内を10月~2月の4回)

- ・対象者を地区ごとに名簿管理しており、人間ドックや健診受診・医療機関から の検査結果提供などの過去の状況に応じて、各地区担当保健師・管理栄養士が、 個別に受診勧奨。
- ・各地区の受診勧奨計画を作成し、保健補導員等地域住民と協力して、学習会・ 回覧板等を実施。
- ・東御市国保新規加入者へのハガキ通知
- ・出前講座等による健診受診勧奨、および出前講座での健診受診勧奨

②受けやすい健診体制の整備

- ・かかりつけ医にて、受診しやすいよう引き続き個別健診の継続。
- ・かかりつけ医のない対象者の受診しやすい環境整備のため、JAへルススクリーニングを JAと共催で実施した。

6. データヘルス計画

東御市国民健康保険加入者の健診・医療・介護等のデータを分析し、課題から実施可能な目標値を単年度計画でPDCAの観点で実施する実施計画(データヘルス計画)に基づき実施及び評価をします(巻末資料参照)。

7. 歯周疾患検診

歯周病は、中高年の9割がかかっていると言われており、自覚症状の薄いまま進行し、歯の喪失だけでなく、ひどくなれば心臓病や糖尿病、脳梗塞等の全身疾患に関与していることも指摘されています。

市民の歯周疾患の予防・早期発見をし、歯の喪失予防や口腔衛生の保持に努めていきます。

(1) 実施方法

○実施医療機関 市内歯科医療機関(10ヶ所)

○実施期間 平成28年5月から平成29年2月まで

○対象者 平成28年度中に30・40・50・60・70歳になる市民

○受診方法 4月に検診の案内を対象者に一斉送付し、受診希望者は自身で医療

機関へ予約し受診する。

(2) 受診者数の年次推移

(人)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
男	29	37	37	23	31	35	35
女	85	87	80	52	88	87	80
合計	114	124	117	75	119	122	115

(3) 平成28年度検診結果

(人)

0 / 1 /3/2	7 1 7020 1 交换的相外											
年齢	性別	受診者数	検診結果内訳									
十一图巾	土力	又砂日剱	異常なし	要指導者数	要精検者数							
30歳	男	2	0	0	2							
30 成文	女	9	2	0	7							
40歳	男	5	0	0	5							
40 成	女	10	0	1	9							
50歳	男	6	0	0	6							
りしが入	女	14	1	0	13							
60歳	男	6	1	0	5							
00 病风	女	23	0	0	23							
70歳	男	16	0	0	16							
7 0 府文	女	24	0	1	23							
合計	男	35	1	0	34							
	女	80	3	2	75							
糸	総計	115	4	2	109							

対象者1,801人のうち、受診者は115人で受診率は6.4%と低い状況です。

結果は、異常がないとの判定の人は受診者の3.5%と低く、約9割の人は精密な検査が必要との判定でした。歯肉の状況が健全な人は受診者の10.4%でした。

検診未受診者が多いため、疾患の発症を予防する一次予防が重要であることを広く普及し、節目年齢時に検診や保健指導等受診者を増やすよう、受診勧奨に努めていく必要があります。

Ⅲ がん検診事業

1. 胃検診

平成28年度から、国のがん検診指針において、胃検診は胃エックス線検査(バリウム検査)に加え、 胃内視鏡検査(胃カメラ検査)も対策型検診として認められました。

東御市では先進的に胃カメラ検査を導入していましたが、この指針の改定に伴い、40~79歳の者にはバリウム検査を実施し、50、55、60、65、70、75歳の年齢に該当する者はバリウム検査の他、胃カメラ検査が選択できる方式に改訂しました。

また、ピロリ菌の有無や胃の委縮を検査し、胃がんのリスクを判定するABC検査を胃カメラ検査のオプションとして、過去にABC検査を受けたことがない者を対象に実施できるように検診の方式を改めました。

胃内視鏡検診運営委員会(仮称)準備会を実施し、胃がん検診の運営について検討しました。

(1) 胃がん検診

【胃バリウム検診(集団)】

対象者: 40~79歳で、過去のABC検査の結果A判定または過去にABC検査を受けていない者

実施期間: 平成28年10月3日(月)、13日(木)、12月16日(金)、19日(月)

平成29年3月3日(金)、6日(月)

実施場所: 市保健センター

検診料金: 800円 [検診実施結果]

単位:人(()内は重複者)

						精検受診者の結果内訳(※瘢痕を含む)							
年齢	性別	受診者数	受診者数異常なし		精密検査 受診者数	胃がん	胃潰瘍※	十二指 腸潰瘍 ※	胃炎	胃ポリープ	その他	診断 未記入	異常なし
40~44	男	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 44	女	32	30	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0
45~49	男	8	6	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0
40 49	女	22	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~54	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50 54	女	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	男	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
00 00	女	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60~64	男	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
00 01	女	15	14	1	1	0	0	0	1	(1)	0	0	0
65~69	男	17	13	4	3	0	0	0	2	1 (1)	0	0	0
00 00	女	19	17	2	2	0	0	0	2	(1)	0	0	0
70~74	男	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 11	女	11	10	1	1	0	0	0	1	(1)	0	0	0
75~79	男	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10 10	女	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	63	56	7	5	0	0	0	2	1 (1)	1	0	1
	女	125	118	7	6	0	0	0	5	1 (3)	0	0	0
総計	+	188	174	14	11	0	0	0	7	2 (4)	1	0	1

【胃カメラ検査(個別)】

対象者 : 50、55、60、65、70、75歳で、過去のABC検査の結果A判定または過去にABC検査を受

けていない者

実施期間: 平成28年6月~平成29年3月

実施場所: 市内指定医療機関

検診料金: 3,500円

[検診実施結果] 単位:人(()内は重複者)

= 12 **** *	平世.八(()广州3重该行									
				胃	カメラ検査学	受診者の結	果内訳(※源	壊痕を含む)		
年齢	性別	受診者数	胃がん	胃潰瘍※	十二指腸 潰瘍※	胃炎	胃ポリープ	その他	診断 未記入	異常 なし
50歳	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	0	0	0	3	(1)	0	0	1
55歳 男	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0
りりが文	女	4	0	0	0	4	(1)	0	0	0
60歳	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0
00万文	女	6	0	0	0	5	(1)	0	0	1
65歳	男	1	0	0	0	0	0	1	0	0
0.0 所文	女	12	0	1	0	10 (1)	1 (5)	(1)	0	0
70歳	男	2	0	0	0	2	(1)	0	0	0
7 0 厉义	女	8	0	1	0	7 (1)	(1)	0	0	0
75歳	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0
7.0 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	6	0	0	0	5	(1)	1	0	0
	女	34	0	2	0	29 (2)	1 (9)	(1)	0	2
総言	+	40	0	2	0	34 (2)	1 (10)	1 (1)	0	2

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

(2) ABC検査

検査内容: 2種類の血液検査の結果を組み合わせることにより、「胃の健康度」を調べます。

結果はABCのタイプ別で判定します。

ペプシノゲン検査…胃粘膜の萎縮を調べる検査

ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査…ピロリ菌感染を調べる検査

対象者 : 胃カメラ検査対象者で、過去にABC検査を受診したことがない者

実施期間: 平成28年6月~平成29年3月

実施場所: 市内指定医療機関

検診料金: 1,100円

「検診実施結果」

単位:人

年齢	性別	受診者数	A	В	С
50歳	男	0	0	0	0
00//9	女	1	1	0	0
55歳	男	1	1	0	0
00///30	女	3	3	0	0
60歳	男	1	1	0	0
OU所以	女	1	1	0	0
65歳	男	0	0	0	0
000成	女	6	5	0	1
70歳	男	0	0	0	0
7 0 厉义	女	3	2	0	1
75歳	男	0	0	0	0
7.3 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	女	0	0	0	0
小計	男	2	2	0	0
/1,旦[女	14	12	0	2
総言	+	16	14	0	2

【判定基準】

ΛĐ	C判定	ヘリコバクター・ピロリ菌					
AD	し刊た	陰性	陽性				
ペプシ	陰性	A	В				
ノゲン	陽性	(C				

(3) 胃管理検診

過去の検診結果により、医療において胃の検査をした方が良いと思われる者に対して、通知を送付し、医療での胃カメラ検査受診を勧奨しています。

対象者 : 平成18・19・20・21・22年度ペプシノゲン検査陽性者

平成22年度ABC検診パイロット事業においてBC判定だった者

平成23~27年度ABC検診においてBC判定だった者

過去の精密検査において医師から胃内視鏡検査の指示のあった者

単位:人(()内は重複者)

				胃カメラ	検査受診者	の結果内訓	₹(※瘢痕を	含む)	
年齢	性別	受診者数	胃がん	胃潰瘍※	十二指腸 潰瘍※	胃炎	胃ポリープ	その他	異常 なし
40~44	男	3	0	0	0	3	0	0	0
40, 44	女	4	0	0	0	4	(1)	0	0
45~49	男	2	0	0	0	2	0	0	0
40 49	女	8	0	0	0	8	(2)	0	0
50~54	男	3	0	1	0	2(1)	0	0	0
30 -34	女	11	0	0	0	7	(2)	0	4
55~59	男	4	1	0	0	3	(1)	0	0
00 -09	女	17	0	1	0	15	(2)	1	0
60~64	男	10	0	0	0	10	(2)	(1)	0
00 04	女	24	0	1	0	21 (1)	2(2)	(1)	0
65~69	男	16	0	2	(1)	14 (2)	(2)	(2)	0
00 -03	女	36	0	2	1	31 (2)	1 (3)	(3)	1
70~74	男	33	1(疑い)	3	0	27 (3)	(5)	(1)	2
10 14	女	32	2	0	1	28 (1)	(2)	(2)	1
75以上	男	30	0	5	3	21 (7)	(2)	0	1
10001	女	35	0	4	(1)	30 (4)	(5)	(2)	1
合計	男	101	2(疑い含む)	11	3 (1)	82 (13)	(12)	(4)	3
	女	167	2	8	2(1)	144 (8)	3 (19)	1 (8)	7
総計	+	268	4	19	5 (2)	226 (21)	3 (31)	1 (12)	10

2. 大腸がん検診

大腸がん検診は、便潜血反応検査(2日法)によって40歳以上を対象に実施しています。 検診を受けやすくするため、申し込みの必要性をなくして直接医療機関に行き、受診する 個別検診の体制をとっています。

(平成27年度まで実施されていた大腸がん検診クーポン事業は、5年が経過し終了しました。)

実施期間:平成28年6月~平成29年1月

検診場所:市内指定医療機関

対象者:市内に住所を有する40歳以上の者、申込者:2,848名

検診料金:500円

① 受診者と精密検査結果の年次推移

単位:人

		H24⁴	F 度	H25年		H26年	F 度	H27年	F 度	H28年度
		クーポン以外	クーポン	クーポン以外	クーポン	クーポン以外	クーポン	クーポン以外	クーポン	Π20平度
	受診者数	742	284	816	217	794	202	1, 229	241	1, 309
	異常なし	698	256	771	199	738	189	1, 156	231	1, 213
要精	密検査対象者	44	28	45	18	56	13	73	10	96
	大腸がん	3	0	2	0	0	1	2	0	4
精	ポリープ	12	10	13	0	18	3	28	1	39
密	大腸憩室	0	1	2	2	1	0	4	0	2
検	肛門疾患	5	5	5	1	1	3	11	1	9
査	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0
結果	診断未記入	3	0	0	0	1	0	4	1	1
未	異常なし	9	5	8	0	9	3	15	3	23
	未受診者	12	6	15	15	26	3	9	4	18

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

② 検診実施状況

単位:人(延べ人数)

年齢	性別	受診者数	異常なし	精密検査			精検	結果の	内訳		<u> </u>	精検未受診者数
平断	1生为1	文衫有剱	共币なし	対象者数	大腸がん	ポリープ	大腸憩室	肛門疾患	その他	診断未記入	異常なし	相快不又衫有数
40~44	男	18	16	2	0	0	0	2	0	0	0	0
40 44	女	46	43	3	0	1	0	0	0	0	1	1
45~49	男	13	11	2	0	1	0	1	0	0	0	0
45 49	女	51	49	2	0	1	0	0	0	0	1	0
50~54	男	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50 - 54	女	55	53	2	0	1	0	0	0	0	0	1
55~59	男	14	13	1	0	0	0	0	0	0	1	0
00 - 09	女	60	56	4	0	1	0	0	0	0	2	1
60~64	男	56	54	2	0	2	0	0	0	0	0	0
00 -04	女	112	107	5	0	0	0	1	0	0	4	0
65~69	男	127	113	14	0	8	0	2	0	0	2	2
05 -09	女	212	202	10	1	2	0	0	0	0	4	3
70~74	男	105	88	17	1	8	0	2	0	0	1	5
10 - 14	女	133	127	6	0	2	1	0	0	0	1	2
75~79	男	81	74	7	1	3	0	0	0	0	2	1
10 - 19	女	92	85	7	1	4	0	0	0	1	1	0
80以上	男	61	51	10	0	4	1	1	0	0	2	2
00以上	女	54	52	2	0	1	0	0	0	0	1	0
合計	男	494	439	55	2	26	1	8	0	0	8	10
	女	815	774	41	2	13	1	1	0	1	15	8
総計		1309	1213	96	4	39	2	9	0	1	23	18

3. 肺がん検診

(1) らせんCT検診

肺がんによる死亡者数が増加傾向である中で、胸部レントゲン検診では見つけることのできなかった、骨や心臓などの陰に隠れた肺がんや小さな肺がんをも見つけることができる精度の高い検診です。

対象者: 41歳以上の奇数年齢になる者 申込者675人

検診実施日 : ○土曜日…6月25日、7月23日、11月26日

○平日…6月~翌3月の毎週月・火・金曜日

検査場所 : 東御市民病院

検査料金 : 2,500円

① 受診者と精密検査結果の年次推移

単位:人

		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	受診者数	374	351	360	368	368
	異常なし	349	256	239	292	260
	要精密検査対象者	25	95	121	76	108
	肺がん	1	0	2	0	1
	肺がん疑い	2	2	1	1	4
精密	肺結核治癒 (H27~陳旧性炎症性変化を含む)	1	1	3	15	14
検	その他呼吸器疾患	12	44	47	25	29
検査結	循環器疾患	0	1	3	1	0
果	その他の疾患	1	16	17	12	25
	異常なし	2	21	25	17	15
	未受診者	6	10	23	5	20

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

② 精密検査対象者の検診結果と精密検査結果の状況

単位:人 (())内は重複者)

	_			精密	検査対象	者の検査				至[次日]
		肺がん	肺がん 疑い	陳旧性 炎症性 変化	その他 呼吸器 疾患	循環器 疾患	その他の疾患	異常なし	合計	精検 未受診
精密	肺がん疑い	1	3	8	9	0	2	5	28	3
検査	結核疑い	0	1	6	17 (1)	0	(1)	5	29 (2)	6
対象	循環器疾患疑い	0	0	0	1	0	0	0	1	1
者の・	その他の疾患疑い	0	0	0	2	0	23	5	30	10
内訳	合計	1	4	14	29 (1)	0	25 (1)	15	88 (2)	20

③ 検診実施状況

単位:人

		: =\ : =\	ш ж	要精密		精密	検査受診	:者の結果	内訳	1 1	精検
年齢	性別	受診 者数	異常 なし	検査者数	異常なし	肺がん (疑い含 む)	陳旧性 炎症性 変化	その他 呼吸器 疾患	循環器 疾患	その他の疾患	未受診 者数
40~44	男	8	7	1	1	0	0	0	0	0	0
40.044	女	29	18	11	2	0	1	4	0	3	1
45~49	男	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0
45 49	女	34	28	6	0	0	1	1	0	2	2
50~54	男	9	6	3	1	0	0	0	0	0	2
30 934	女	22	19	3	1	0	0	0	0	2	0
55~59	男	14	10	4	1	1	0	0	0	1	1
55, 599	女	34	27	7	1	0	1	2	0	2	1
600.61	男	21	15	6	0	1	1	2	0	1	1
60~64	女	31	21	10	1	0	2	1	0	3	3
65~69	男	38	22	16	2	1	1	7	0	1	4
03.409	女	48	29	19	3	2	1	6	0	4	3
70~74	男	16	11	5	0	0	2	1	0	1	1
10 - 14	女	9	4	5	0	0	2	2	0	0	1
75~79	男	15	11	4	0	0	1	2	0	1	0
15 - 19	女	11	5	6	2	0	1	0	0	3	0
80以上	男	6	5	1	0	0	0	1	0	0	0
00以上	女	8	7	1	0	0	0	0	0	1	0
合計	男	142	102	40	5	3	5	13	0	5	9
	女	226	158	68	10	2	9	16	0	20	11
総	計	368	260	108	15	5	14	29	0	25	20

(2) 喀痰検査

たばこが原因で起こる、肺の入口(肺門)にできるがんを発見するための検査です。

対象者: 50歳以上で喫煙指数600以上の喫煙者、申込者265人(うち検診希望者10名)

(喫煙指数=喫煙年数×1日平均喫煙本数)

検診内容: 朝一番に出る痰を3日間続けて採取し、容器を提出する。(細胞診)

検診日 : 平成28年8月10日、8月31日、9月12日

提出場所 : 市保健センター

検診料金 : 1,000円

単位:人

	受診者数	がん発見者
H24年度	26	0
H25年度	27	0
H26年度	19	0
H27年度	20	0
H28年度	10	0

※検体不良者(痰が採れていなかった):1名

4. 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診では、子宮頸がんを見つけるための子宮頸管部(子宮の入り口)の細胞を採取して検査をする細胞診検査を実施しています。

平成27年度から、受診者の利便性を向上させるため、東御市の他、上田市および小諸市の 産婦人科でも子宮頸がん検診を受診できるようにしました。

受診可能な医療機関が増加したため、検査内容は国の基準に準じ、子宮頸部の細胞診に統一しました。

対象者: ①20歳~29歳の女性

②30歳以上で前年度に子宮頸がん検診を受診していない女性

③30歳以上で年度内に偶数年齢になる女性(対象者移行期間のため)

申込者:1,872名

検診内容:医師の診察・細胞診検査

検診料金:1,500円 検診期間と場所:

個別検診	平成28年5月2日(月)~平成29年2月28日(火)	指定医療機関(東御市・上田市・小諸市)
集団検診	一千成20千0月10日、31日、3月0日、11月30日、 1亚出20年1日10日	北御牧公民館、和コミュニティー センター、滋野コミュニティーセンター、 保健センター

子宮頸がん無料クーポン検診 平成28年度対象者 132人 平成21年度より特定の年齢の方に無料クーポン券を配布し、無料検診を実施。 (平成28年度対象者は、平成29年4月1日現在の満年齢で、21歳の女性)

(1) 受診者と精密検査結果の年次推移

単位:人

		H24年度			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
細胞語	診検査受診者数	1, 418	細胞診	検査受診者数	1, 272	826	740	1, 152
	異常なし	1, 404		異常なし	1,220	786	727	1, 141
	要精密検査	14		要精密検査	49	40	13	11
細	子宮頸がん	1	睡上	CIN1	16	1	3	2
精胞	上皮内腫瘍	1	腫瘍 光	CIN2	4	1	0	2
密診	異型上皮	6	※ 内	CIN3 (上皮内癌含む)	1	1	1	0
検検 査査	付属器腫瘍	0	子宮頸	質がん (上皮内癌以外)	0	0	0	1 (疑)
結	その他	0		その他	4	1	5	3
果	異常なし	1		異常なし	12	10	2	1
	未受診者	5		未受診者	12	26	2	2
F	IPV検査受診者	332	HPV	/検査受診者	925	423		
H	IPV検査陰性者	308	HPV	/検査陰性者	795	399		
H	IPV検査陽性者	24	HPV	/検査陽性者	127	24	H27年/	度より
過去2	年以内のHPV陽性者で	19	HPV検	食查判定不能者	3	0	実施	なし
温土の	細胞診受診者 年以内のHPV陰性者で		経膣超	音波検査受診者	1201	1204		
	平以内のMFV层性有で 経膣エコー受診者	203	超音	波検査のみ(再掲)	202	476		
子宮	頸がん無料クーポン 検診対象者	798	子宮頸	がん無料クーポン 検診対象者	844	136	141	132
	頸がん無料クーポン 診受診者(再掲)	207	子宮頸がん無料クーポン 検診受診者 (再掲)		181	17	13	17

※H25年度より精密検査結果の表記を変更:子宮頸部上皮内腫瘍cervical intraepithelial neoplasia (CIN)とも表現され、軽度異形成をCIN1、中等度異形成をCIN2、高度異形成と上皮内がんをCIN3とする。

(2) 実施状況(集団·個別検診結果集計)

①細胞診検査集計

単位:人

	単	(E	A	A		H S S	(扁	A 腺 C	〔 上	A d	そ 0	要	精		精検	受診	者の	結果	:内訳		精給
年齢	受診者数	(異常 I L M	S C U S	S C H	(軽度) L	上皮内癌)	平上皮癌)	除癌疑い) C (腺異形、	一皮内腺癌)	(腺癌) C a	の他の癌)	要精検者数	検受診者数	頸がん	頸がん疑い	C I N 1	C I N 2	C I N 3	その他	異常なし	精検未受診者数
20~24	38	37	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25~29	48	47	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
30~34	66	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35~39	86	84	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1
40~44	125	123	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0
45~49	102	100	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0
50~54	118	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	96	95	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
60~64	137	136	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
65~69	158	157	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
70~74	111	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	49	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	1152	1141	6	2	0	2	0	1	0	0	0	11	9	0	1	2	2	0	3	1	2

[※]平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

②子宮頸がん無料クーポン検診集計 (①のうち数再掲)

単位:人

年齢 受	受診者数	異常	要精検	精検		精	検受診者	の結果内	訳	
□ 十一掛甲	又必有数	なし	者数	受診者数	頸がん	CIN1	CIN2	CIN3	その他	異常なし
20(21)	17	16	1		_		_		_	

[※]平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

③子宮頸がん無料クーポン検診年次推移

単位:人

年齢	H 2 4	4年度	H 2	5年度	H 2 6	6年度	H 2 ′	7年度	H 2 8	8年度
1十一图巾	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者
20(21)	136	17	137	8	136	17	141	13	132	17
25 (26)	139	24	126	20		_				
30 (31)	156	44	167	30		_				
35 (36)	156	58	210	57		—				
40 (41)	211	64	204	66		—				
総計	798	207	844	181	136	17	141	13	132	17

(3) 実施状況再計(個別・集団)

①個別(委託医療機関にて実施)

単位:人

	受	(異 N	A S	A	Ī	度 H ~ S		形、A Lin G		A d	~ そ 0	要精	精給		精検	受診	者の	結果	内訳		精検
年齢	受診者数	典常 I L M	C U S	S C H	(軽度) L	上皮内癌)	平上皮癌)	腺癌疑い)	皮内腺癌)	(腺癌) e n o C a	の他の癌)	精検者数	検受診者数	頸がん	頸がん疑い	C I N 1	C I N 2	C I N 3	その他	異常なし	検未受診者数
20~24	37	36	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25~29	48	47	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
30~34	62	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35~39	77	76	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
40~44	112	110	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0
45~49	88	86	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0
50~54	105	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	73	72	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
60~64	106	105	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
65~69	96	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	68	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	900	891	5	1	0	2	0	1	0	0	0	9	8	0	1	2	1	0	3	1	1

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

②集団(長野県健康づくり事業団の検診バスにて実施)

単位:人

								17 (17/													
	顷)	A	A		Н S	(扁	A EE	(۲	A d	そ0	要	精		精検	受診	者の	結果	内訳		精検
年齢	受診者数	(異常 L M	S C U S	S C H	(軽度) L L	上皮内癌)	平上皮癌)	腺癌疑い)	上皮内腺癌) A I S	(腺癌) C a	の他の癌)	要精検者数	検受診者数	頸がん	頸がん疑い	C I N 1	C I N 2	C I N 3	その他	異常なし	未受診者数
20~24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25~29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30~34	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35~39	9	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
40~44	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45~49	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50~54	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60~64	31	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	61	60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
70~74	44	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	252	250	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1

5. 乳がん検診(マンモグラフィ検査)

乳がん検診(マンモグラフィ検査)は、乳房を板に挟んでレントゲン撮影をする検査です。視触診ではわからない小さなしこりもわかります。

乳がんは食事の欧米化等によって増加しているがんでもあり、今後も検診の受診勧奨に 努めていく必要があります。

対象者: 40歳以上で偶数年齢になる女性、申込者1,024人 検査内容: 乳房エックス線撮影(マンモグラフィ検査)…2方向撮影

検診期間と場所:

個別検診	期間	平成28年6月~平成29年3月
	場所	東御市民病院
集団検診	期間	平成28年7月4日、9月27日、11月30日、平成29年1月31日、3月1日
未凹灰衫 	場所	北御牧公民館、和コミュニティーセンター、保健センター

検査料金 : 個別検診…2,500円 集団検診…2,000円

乳がん無料クーポン検診

平成21年度より特定の年齢の方に無料クーポン券を配布し、無料検診を実施 (平成28年度対象者は、H29.4.1現在の満年齢41歳の者204人)

(1) 受診者と精密検査結果の年次推移

単位:人

		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	受診者数	583	566	544	626	739
	異常なし	538	515	507	521	631
	要精密検査対象者	45	51	37	105	108
	乳がん	2	1	1	1	3
精	繊維腺腫	1	1	0	6	6
密	乳腺症	7	8	9	14	17
検 査	のう胞	3	5	1	15	11(1)
結	その他	5	12	10	12	11
果	異常なし	26	20	10	48	50
	未受診者	1	4	6	9	10
乳が	ん無料クーポン検診対象者	994	1102	203	243	204
クーホ	゚ン検診受診者 (再掲)	305	305	65	77	61

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

(2) 実施状況

①乳がん検診(全体)

単位:人(())内は重複者)

<u> </u>	12 41.0										
年齢	受診者数	異常なし	要精密	精密検査		精	検受診者	の結果内	訳		精検 未受診
一十一国印	又的日奴	共市なし	検査者数	受診者数	乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	者数
40~44	165	144	21	19	0	2	5	2	0	10	2
45~49	75	61	14	13	0	2	5	(1)	4	2	1
50~54	107	92	15	13	0	2	1	3	0	7	2
55~59	59	50	9	8	0	0	2	3	0	3	1
60~64	101	87	14	12	0	0	1	1	0	10	2
65~69	93	76	17	16	1	0	1	1	2	11	1
$70 \sim 74$	100	86	14	13	2	0	2	1	3	5	1
75~79	25	24	1	1	0	0	0	0	1	0	0
80以上	14	11	3	3	0	0	0	0	1	2	0
総計	739	631	108	98	3	6	17	11(1)	11	50	10

②乳がん無料クーポン券検診集計(①のうち数再掲)

単位:人(延べ人数)

左脸	严	異常なし	要精密	精密検査		精	検受診者	の結果内	訳	
年齢 受診者数 異常な	共市なし	検査者数	受診者数	乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	
41	61	50	11	11	0	2	1	1	0	7

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

③乳がん無料クーポン検診年次推移

単位:人(延べ人数)

年齢	H24	年度	H25年度			年齢	H26年度		H27年度		H28年度	
一十一田中	対象者	受診者	年齢	対象者	受診者	一种即	対象者	受診者	対象者	受診者	対象者	受診者
41 (40)	204	71	44	206	64	41	203	65	243	77	204	61
46 (45)	178	50	46	211	49							_
51 (50)	178	61	54	224	67		_	_	_	_	_	_
56 (55)	190	58	56	184	42		_	_	_	_	_	_
61 (60)	244	65	64	277	83		_	_	_	_	_	_
総計	994	305	総計	1, 102	305	総計	203	65	243	77	204	61

(3) 実施状況再計

①個別(東御市民病院にて実施)

単位:人(())内は重複者)

年齢	受診者数	異常なし	要精密	精密検査		精	検受診者	の結果内	訳		精検 未受診
十一图下	又彰有数	共币なし	検査者数	受診者数	乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	者数
40~44	146	126	20	19	0	2	5	2	0	10	1
45~49	62	49	13	12	0	2	5	(1)	3	2	1
50~54	94	79	15	13	0	2	1	3	0	7	2
55~59	50	42	8	7	0	0	1	3	0	3	1
60~64	82	69	13	11	0	0	1	1	0	9	2
65~69	66	54	12	12	0	0	1	1	2	8	0
70~74	74	60	14	13	2	0	2	1	3	5	1
75~79	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80以上	7	6	1	1	0	0	0	0	0	1	0
総計	590	494	96	88	2	6	16	11	8	45	8

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

②集団(長野県健康づくり事業団の検診バスにて実施)

単位:人(延べ人数)

	(八八八		7 7 10	♥ 2 1 大 1 2 / 1 / 2		てカロノ		1 1-3	• • • • • •	/ \ 3/\ /	
年齢	受診者数	異常なし	要精密	精密検査		精	検受診者	の結果内	訳		精検 未受診
一十一国印	又砂日奴	共市なし	検査者数	受診者数	乳がん	線維腺腫	乳腺症	のう胞	その他	異常なし	者数
40~44	19	18	1	0	0	0	0	0	0	0	1
45~49	13	12	1	1	0	0	0	0	1	0	0
50~54	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	9	8	1	1	0	0	1	0	0	0	0
60~64	19	18	1	1	0	0	0	0	0	1	0
65~69	27	22	5	4	1	0	0	0	0	3	1
70~74	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	16	15	1	1	0	0	0	0	1	0	0
80以上	7	5	2	2	0	0	0	0	1	1	0
総計	149	137	12	10	1	0	1	0	3	5	2

6. 前立腺がん検診

PSA検査とは、血液の検査によりPSAの値を調べる検査です。

PSAは、前立腺で生成される特異的なたんぱく質の一種で、健康なときにも血液中に存在していますが、前立腺がんが発生すると大量のPSAが血液中に流れだすため高値になります。

この検査は、平成17年から実施していますが、受診者数は年々増加しており、がんの発見率も高いため、早期発見・早期治療に結びつける検査といえます。

なお、検査結果の値が1.0ng/ml未満の方は、3年に1回の受診です。

対象者 : 50歳以上の男性、申込者831人 実施期間 : 平成28年6月~平成29年1月

検診場所 : 市内指定医療機関

検診料金 : 600円

① 受診者と精密検査結果の年次推移

単位:人

		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	受診者数	269	512	360	555	510
	異常なし	247	467	325	503	475
要	精密検査対象者	22	45	35	52	35
	前立腺がん	2	0	2	1	2
精	前立腺がん疑い	10	12	9	11	8
密	前立腺肥大	0	4	3	5	4
検査	その他	0	1	0	1	1
査結	未確定	0	0	0	0	0
果	異常なし	0	1	5	3	4
	未受診	10	27	16	30	16

※平成29年5月末現在の精密検査結果返送分までの集計結果による

※がんが発見された者のうち1名は検診以前にがんが発見され治療開始されていた者でした。

② 検診実施状況

単位:人(延べ人数)

年齢	受診	要精密 検査者	精密検 査受診		*	青検受診者	の結果内記	<u> </u>		精密検
者数機数		快宜有 数	重文形 者数	前立腺 がん	がん 疑い	前立腺 肥大症	その他	未確定	異常 なし	査未受 診者数
50~54	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55~59	26	1	1	0	1	0	0	0	0	0
60~64	66	4	2	0	0	0	0	0	2	2
65~69	161	5	2	1	0	0	0	0	1	3
70~74	120	10	5	0	3	1	0	0	1	5
75~79	60	8	5	1	2	2	0	0	0	3
80以上	44	7	4	0	2	1	1	0	0	3
総計	510	35	19	2	8	4	1	0	4	16

IV 感染症対策事業

1. 予防接種接種状況

定期予防接種は、法律に基づいて、伝染のおそれがある疾病の発生と蔓延を予防 し、乳幼児・学童・高齢者を疾病から守るために実施しています。

(実人数)

定期予防接種名 (実施時期)		対 象 者	対象者数	接種者数	接種率
	1回目		171	155	90.6%
B 型 肝 炎	2回目	出生時~1歳に至るまで (標準は生後2か月~8か月)	158	138	87. 3%
	3回目		86	65	75. 6%
	1回目		259	211	81. 5%
ヒ ブ	2回目	生後2か月~5歳に至るまで (至るまで…誕生日の前日)	256	205	80. 1%
	3回目		258	196	76.0%
	追加		212	230	108. 5%
	1回目		259	208	80. 3%
小児用肺炎球菌	2回目		258	206	79.8%
7、元 用 师 炙 塚 圉	3回目	生仮2017年3歳に主るよく	261	196	75. 1%
	追加		212	231	109.0%
	1回目		249	211	84. 7%
四種混合	2回目	- - 生後3か月~7歳半に至るまで -	250	196	78. 4%
	3回目	工板300-70 一板十に主るよく	251	208	82. 9%
	追加		287	219	76. 3%
	1回目		7	0	0.0%
不活化ポリオ	2回目	生後3か月~7歳半に至るまで	10	4	40.0%
不 活 化 ポ リ オ	3回目	工区3/1-77 -1成十に主分まし	13	3	23. 1%
	追加		13	5	38. 5%
в с с		生後3か月~1歳に至るまで (標準は生後5か月~8か月)	224	210	93.8%
虚 1 7 周 1 7 78 人	1 期	1歳~2歳に至るまで	229	232	101.3%
麻 しん 風 しん 混 合	2 期	小学校入学前の1年間	268	257	95. 9%

定期予防接種名 (実施時期)		対 象 者	対象者数	接種者数	接種率
水痘	初回	1歳~3歳に至るまで	245	228	93. 1%
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	追加	1歳 3歳に主るよく	234	209	89. 3%
	1回目		340	253	74. 4%
	2回目	生後6か月~7歳半に至るまで 標準は3歳~4歳	340	260	76. 5%
日本脳炎	追加		261	214	82.0%
	2 期	標準は9歳~13歳未満 1期終了者で希望者	254	94	37.0%
二 種 混 合 (9~)	10月)	小学校6年生	302	299	99. 0%
子宮頸がん	v	小6~高1年齢相当 (期間中3回接種)	1, 188	0	0.0%
季節性インフルエン (10~12月)	ザ	65歳以上及び 60歳~64歳の特定対象者	8, 913	5, 399	60.6%
高齢者用肺炎球菌		65・70・75・80・85・90・ 95・100歳の者 60歳~64歳の特定対象者	2, 011	985	49.0%

- ・予防接種法と感染症法に基づく「風しんに関する特定感染症予防指針」により麻しん風 しん混合ワクチン接種(第1期及び第2期)について95%以上の接種を目標とし、接種勧 奨を行いました。なお、麻しん及び風しんの単独接種はありませんでした。
- ・日本脳炎予防接種は平成17年~21年度の積極的勧奨の差し控えにより接種を受けられなかった方に対し、国は、7歳半~9歳未満の年齢枠を解消し、平成7年4月2日生~平成19年4月1日生の方に20歳までの間、未接種回数を定期接種としました。2期は希望者に接種することになっています。

平成28年度は6歳の1期未接種者及び9歳・18歳の2期未接種者に積極的勧奨を行いました。

- ・ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な陣痛がヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン接種後に特異的にみられたことから、平成25年6月15日から子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨を差し控えています。なお、1~3回目の接種はありませんでした。
- ・三種混合ワクチンは最終在庫ワクチンの有効期限である平成28年7月15日をもって終了となりました。なお、1~4回目(追加)の接種はありませんでした。
- ・平成28年10月1日からB型肝炎予防接種が定期予防接種になりました。対象者は平成28年4月1日以降に生まれた方で、接種期間は出生後~1歳に至るまでです。4月~8月生まれの方は接種期間が通常よりも短いため、通知発送及び新生児訪問、4か月児健診等で接種案内を行いました。

2. 胸部レントゲン検診 実施状況

感染症法により、年に1回は結核に係る健康診断を受けなければならないとされており、市では、65歳以上の方を対象に、胸部エックス線検査を行っています。

対象者: 65才以上の者(事業者等が行う健康診断を受ける者を除く。)

内容: レントゲン検診車による市内巡回集団検診

実施日: 8月29日から9月5日の平日6日間

(1) 受診者と精密検査対象者年次推移

単位:人

			平成27年度		平成28年度		
		男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計
受 診 者 数		712	1,029	1, 741	740	1, 030	1,770
	異常なし	632	940	1, 572	655	964	1,619
	要観察	52	60	112	64	37	101
	要精密検査対象者	28	29	57	21	29	50
	要読影不能	0	0	0	0	0	0
	精肺結核疑い	0	1	1	0	0	0
	() 南	22	13	35	11	12	23
		1	4	5	9	15	24
	の内他疾患疑い	1	3	4	0	0	0
	歌 腫 瘍 疑 い	4	8	12	1	2	3
	精密検査未受診者	9	6	15	8	5	13

(2) 平成28年度精密検査結果(実人数)

単位:人

		₩.	要											
年齢	性別	受診者数	精検者数	受診者数精密検査	異常なし	肺飛が発ん性	肺転 が移 ん性	悪性腫瘍	疑いん	疑 A い H	肺結核腫	疑い核	胎 胎 糖 核	その他
65~69	男	179	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0509	女	300	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	の 他
70~74	男	196	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 - 14	女	249	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	172	5	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
10 -19	女	230	7	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
80以上	男	193	11	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
00XI	女	251	14	12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7
合計	男	740	21	13	4	1	1	0	0	0	0	0	1	6
	女	1030	29	24	11	0	0	0	0	0	0	0	0	13
総計	+	1,770	50	37	15	1	1	0	0	0	0	0	1	19

※年齢は健診当日・精密検査当日の年齢です。

(3) 結核登録管理状況(平成28年12月31日現在 上田保健福祉事務所調べ)

登録患者数: 10人 新発生: 4人

V 精神保健事業

1. 相談事業

目 的:こころの健康に不安を持つ人や家族のために精神科医による相談を行

い、必要に応じて医療へつなげることを支援しています。

内 容:精神科医による相談(こころの相談) 月1回実施(予約制)

〈相談の依頼先〉小諸高原病院 精神科医 髙橋 未央 氏

千曲荘病院 精神科医 櫻井 剛志 氏

実績:相談件数 25件

相談内容 ・不安定さのある家族への関わり方について

• 受診相談

・家族関係について

ひきこもりの家族について

・学校関係者から不登校の相談

2. 啓発事業

(1) 心の健康づくり啓発事業(心の健康づくり講座)

目 的:こころの健康や人との向き合いについて考える場を提供し、こころの

健康への関心を高めることを目的としています。

内容:人が生きる社会をより正しく理解するために文化や人、こころについ

て話題提供し、学び合います。

講 師:公益財団法人 身体教育医学研究所 研究部長 朴 相俊 氏

実 績:参加者 延べ55人 ※託児の利用なし

開催場所 総合福祉センター3 階 301・302 研修室

<開催日時・内容> 全6回開催

午後 1 時 30 分~	午後 6 時 30 分~	内容
午後 3 時 30 分	午後8時30分	Pj 谷
5月6日(金)	8月9日 (火)	こころのリセット
7 人	9 人	~負うべき荷物・捨てるべき荷物~
6月3日(金)	9月6日 (火)	こころとむきあう
6 人	20 人	~内面をふりかえる~
7月1日(金)	10月11日(火)	こころの引き出し
5 人	8人	~困ったときのメモ帳~

(2) 精神保健講演会

目 的:働き盛りのうつ、自殺予防を図るため市民や市内の事業所を中心にメンタルへルスについて考える機会やストレスチェックの効果的な実施について情報を提供します。

内容:「働きやすい職場のためのストレスチェック活用法」

講 師:公益財団法人 身体教育医学研究所 研究部長 朴 相俊 氏

実績:開催日時 9月1日(木) 午後1時30分~午後3時30分

参加者 17名

開催場所 総合福祉センター3 階 301・302 研修室

(3) ひきこもり対策事業(ひきこもりのことを理解するための学習会)

目 的: 広い年代にわたり問題になっているひきこもりについての理解と支援に 関して基本的な情報を提供し、本人への適切な支援につなげます。また、 長期にわたる支援のため、精神的負担が大きい家族や支援者への支援を 行います。

内 容: ひきこもりを理解するための基本的な情報と実際の支援者からの支援 現場の実状の報告、参加者の理解を深めるためのワークショップを実施 します。

講 師:公益財団法人 身体教育医学研究所 研究部長 朴 相俊 氏

実 績:参加者 延べ43人

開催場所 総合福祉センター3階 301・302研修室(1回目のみ講堂)

<開催日時・内容> 全4回開催 午後6時30分~午後8時30分

	内 容
	ひきこもりへの理解
5月11日(水) 17人	特別講師:千曲荘病院精神科医 櫻井剛志氏
0 17 7 (-14) 0 1	ワークショップ
8月17日(水) 9人	特別講師:上田保健福祉事務所保健師 三枝祥子氏
11月30日(水)9人	家族支援の基本的な考え方
2月15日(水) 8人	まとめ

3. 人材育成講座

(1) ゲートキーパー育成事業 (ゲートキーパー人材育成講座)

目 的:自殺のサインに気づくゲートキーパーを育成するための知識やスキルを 提供します。

講 師:公益財団法人 身体教育医学研究所 研究部長 朴 相俊 氏

実 績: 参加者 延べ35人(実人数14人)平成28年度までの卒業生152人 開催場所 総合福祉センター3階 301・302研修室

<開催日時・内容> 全3回×2コース開催

午後 1 時 30 分~	午後 6 時 30 分~	中 宏
午後 3 時 30 分	午後 8 時 30 分	内 容
6月1日(水)	10月5日(水)	大切な命
5 人	8人	~命の価値をもう一度考える~
6月15日(水)	10月12日(水)	支える命
4 人	8人	~自殺のこころと向き合う~
6月22日(水)	10月19日(水)	あなたもゲートキーパー
4 人	6 人	~大切な人の悩みに気づく・支える~

(2) ゲートキーパーフォロー事業 (ゆるいつながりの会)

目 的:ゲートキーパー育成事業修了後も感性を磨き、お互いに認め合いながら 学び合う場を提供し、地域における絆やつながりを育みます。

内 容:ゲートキーパー育成講座修了後 隔月開催

講 師:公益財団法人 身体教育医学研究所 研究部長 朴 相俊 氏

実 績: 開催日時 4/19 (火) 17 人 6/21 (火) 12 人 8/2 (火) 13 人

10/18 (火) 15 人 12/20 (火) 10 人 2/21 (火) 10 人

時間はいずれも午後7時~午後8時

参加者 延べ77名

開催場所 総合福祉センター2階 保健センター

4. 各種連携

*こころの健康づくり実務者会議

目 的:こころの健康のハイリスク者との接触のある消防・医療機関・相談業務 を行っている現場レベルでの情報交換を行い、自殺未遂者への対応につ いて連携します。

内 容:情報交換(自殺に関連するケースへの対応と連携について)、事例検討

実 績:開催日時:6/14、11/24、2/23 午後1時30分~午後3時30分

5. その他

*「地域のつながりに関する基礎調査」

地域のつながり及びひきこもりの状況について、全年代で初の調査を実施。

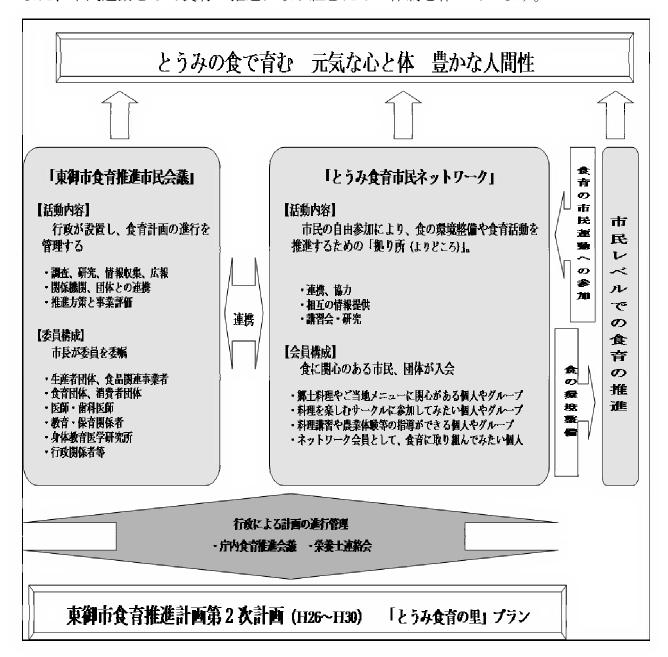
目 的:市民の抑うつ状況、自殺に対する認識、自殺念慮、地域とのつながり、 ひきこもりの状況等について実態を把握し、今後の自殺対策事業のた めの基礎資料とします。

調査方法:対象者 2,000 人(年齢別)を無作為抽出してアンケートを郵送

回 収率:1.031人 51.6% (有効回答 782人 39.1%)

VI 食育推進事業

食育の推進にあたっては、東御市食育推進計画に基づき庁内各課で取り組んでいます。 また、市民運動として食育の推進に取り組むための体制を作っています。



1. 食育推進市民会議

食育団体、農業団体、食品関連事業者、医師、教育・保育関係者等で構成され 事務局 は健康保健課が担当しています。

平成28年11月16日 開催

委員9名が出席し、計画の進捗状況と今後の取り組みについて確認し、第3次食育推進基本計画5つの重点課題について報告しました。

また、各団体で行っている食育の紹介として東御市食生活改善推進協議会、公益財団 法人長野県栄養士会上小支部に発表していただきました。

2. 健康づくり講演会「食育講演会」

- 日時 平成28年7月6日(水) 19時~20時30分
- ·場所 中央公民館2階 講義室
- ・演題 「ACEを意識した食事で元気になる」
- ・講師 ㈱デリクックちくま商品開発課長 吉岡 麻美 氏
- ·参加者 37名

3. とうみ食育市民ネットワーク

会員21名の市民によるボランティア団体です。全体会議を年3回設け、また、食育推進市民会議と連携を図りながら市内の食育活動を推進しています。

(1) 子どもの食育

実施日	対象者	内容	参加人数
11月16日	北御牧保育園	食育戦隊ベジレンジャー (寸劇)	28名
11月17日	田中保育園	JJ	52名
11月24日	祢津保育園	JJ	36名
11月28日	和保育園	JJ	35名
11月30日	滋野保育園	JJ	30名

・保育園年少児を対象に「野菜をたくさん食べよう」という内容で寸劇を実施。 保護者へはお便りで寸劇の内容をお知らせしました。今後も継続していく予定です。

(2) 保護者向け食育

実施日	対象者	内容	参加組数
2月28日	滋野保育園 年中・年長児保護者	「何をどのくらい食べたらいいのか」食 育教室を実施	21名

・子育て世代への食育を保育係栄養士と一緒に実施しました。一日の食事のヒント、 食品に含まれる砂糖の量や食塩の量などを見本や試食を交えて学びました。

(3) イベント・研修会等

実施日	イベント	内容
7月6日	健康づくり講演会	デリクックちくま管理栄養士吉岡麻美氏による 「ACEを意識した食事で元気になる」講演会 へ参加
11月7日	暮らしを見直そう展	『いのちをいただく』など紙芝居を実施

(4) 市報やお知らせ版

今年度の活動として、信州ACEプロジェクトで取り組んでいる"減らそう塩分" について、4コマ漫画で分かりやすく市民に伝えることを提案し、原案を作成しました。 蛯名氏に漫画を依頼、市報12月号および2月号に掲載したところ好評を得ました。

また、お知らせ版では会員の募集や東御市ホームページでは取り組みについて紹介しています。

4. 東御市食生活改善推進協議会

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、まずは自らの食生活見直しを実践し、そのうえで家庭や地域の人々に食生活改善を中心とした健康づくりの輪を広めることをめざし昭和52年から活動している食育団体です。

(1)総会と定例学習会

日程	内 容	人数
4月10日	総会	29
6月1日	健康とうみ21「適正体重」を学ぶ。 保健補導員会献立(減塩)の調理実習	22
10月5日	運動「健康づくりウォーキング」 調理実習(高野豆腐と乳製品使用献立)	15
11月11日	ロコモ予防体操・高血圧について 調理実習 (生涯骨太クッキングメニュー)	21
12月16日	調理実習(おもてなし料理) ※一般公募者(7人含む)	31
3月2日	今年の学習のまとめと感想 調理実習	20

(2) 市外講演会・研修会参加

日程	内容	人数
4月21日	上小支部定期総会(上田市)	12
5月30日	長野県食生活改善推進協議会定期総会(松本市)	2
8~10月	食生活改善推進員育成研修会(上田市、4回)	3
9月27日	上小視察研修(山梨県)	6
10月3日	長野県食生活改善推進大会(塩尻市)	2
10月25日	長野県食品衛生推進大会(長野市)	2
2月21日	上小食育フォーラム(上田市)	4
2~3月	食生活改善推進員育養成講座(上田市、3回)	2

(3) 主な活動

	内 容	協力会員数
	ママパパ教室助手(4回)	4
健康保健課	保健補導員調理実習の助手(5回)	15
	くらしを見直そう展助手(1回)	3
福祉課	聴覚障害会料理講習会 (2回)	4
生涯学習課	手作り料理教室の講師 (5回)	30
人権同和政策課	男性料理教室の講師(1回)	3
八惟问和以从床	たけのこ学級(1回)	5
子育て支援課	かにさんクラブ(9回)・ひまわり教室の助手(3回)	24
社協	いきいきサロン料理教室の講師 (2回)	14
711. [M]	福祉の森ふれあいフェスティバル参加 (ふるさと鍋)	14
学校	東部中学校3年生らぶり一東御(すいとん・おやき)	9

(4) 広報活動

市報に「おいしいヘルシークッキング」レシピ掲載(12回)

VII 健康づくり事業

健康づくりの重点事項として、第2次東御市健康づくり計画「健康とうみ21(前期 平成28~31年度)」の計画に沿って各事業を実施しています。

特に28年度は計画の初年度であることから、各関係機関、市内5地域、職域との連携を強め、広く一般市民に対する健康づくりを行いました。

事業概要は、「健康とうみ21」の推進として、各種健康づくり講演会の実施や出前講座の充実、プラス10ミニッツ健康マイレージ事業など昨年度から継続している事業に加え、今年度はあらたに、市内5地区の健康課題分析報告会を開催し、市民が身近に感じる工夫を加え、地域に出向く事業を実施しました。

また、過去に行っていた健康づくり教室については見直しを行い、市の健康課題である、適正体重や高血糖の問題に対して「とうみ ACE 教室」として対象者やねらいを絞り込んだ減量・適正体重維持のための教室を開催するなど、計画の推進に向かって、過去の課題を分析・評価しつつ事業を実施しました。

1. 健康づくり講演会

(1) 日時および内容

口	開催日	内容	講師	参加者数
1	H28. 5. 11	ひきこもりへの理解	千曲荘病院 精神科医師 櫻井 剛志 氏	17
2	H28. 5. 25	糖尿病をくいとめるために	佐久市国保浅間総合病院 糖尿病科医師 仲 元司 氏	147
3	H28. 7. 6	ACE を意識した食事で元気になる	(株) デリクックちくま 商品開発課長(管理栄養士) 吉岡 麻美 氏	37
4	H28. 9. 1	働きやすい職場のためのスト レスチェック活用法	(公財)身体教育医学研究所 研究部長 朴相俊 氏	17
5	H28. 10. 14	歩き方を変えるだけで 10 歳 若返る!	信州大学大学院医学系研究科 教授 能勢 博 氏	115
6	H29. 1. 26	がん哲学外来カフェ がん哲学外来シンポジウム	順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授 樋野 興夫 氏	カフェ 18 講演 100

2. 5地区単位の健康状況報告会(H28年度新規)

(1) 経過

「健康とうみ 21」において、地域特性の把握に努め、健康状況を分析し課題を明らかにすることにより、市民が健康づくりに取り組むきっかけを作るとともに、その取り組みを継続するための支援や健康な地域づくりの推進を図ることを掲げています。

H28年度から、5地区単位の健康状況分析について KDB (国保データベースシステム H27年度分)を利用した分析に着手し、結果が11月にまとまったため、市民への報告会を開催しました。

委託先:(公財)身体教育医学研究所

・H28 年 9 月~11 月 課内学習会(5 回実施)

・H28 年 12 月 1 日 理事者説明

・H28年12月~H29年3月 各5地区での報告会開催

(2) 実績

地区	実施日	場所	連携・関係団体	人数
田中	H29.2.1	中央公民館	地域づくりの会 保健補導員会	65
滋野	H29.2.4	滋野コミュニティセンター	保健補導員会	32
祢津	H28.12.13	祢津公民館	地域づくりの会 保健補導員会	31
和	H29.1.18	和コミュニティセンター	保健補導員会	25
北御牧	H29.3.6	北御牧公民館	御牧ふれあいの郷づくり協議会 保健補導員会	56
合計	5 回			209

(3) 内容

経過報告、健康状況の報告と課題に対する取り組み方法、運動の実技、参加者のグループワーク、健康とうみ21宣言等

(講師:身体教育医学研究所 岡田所長)

(4) 分析結果

市内5地区の共通課題は高血糖と報告され、また地区ごとに分析結果が異なるため、各地域の良い点、課題について、参加者で意見交換を行い、身近な地域での取り組みについて話し合うことができました。

3. 各種教室 (H28年度新規)

(1) とうみ ACE 教室「ウエストサイズ物語」 ≪発症予防の教室≫

	<u> </u>
	糖尿病予備群(HbA1c5.6以上6.4)が6割以上を占めており、若い
目的	世代からの糖尿病予防を行う必要があるため、発症予防としての適
	正体重の維持および減量を目的とする。
社在 学	70歳未満で、減量や体重管理を希望する、概ねBMI(体格指数)
対象者	24 以上または腹囲 85cm 以上の市民 1 コース 10 名程度の定員
	体重、体脂肪、筋肉量等の測定、活動量計貸し出しと報告、バラン
 内容	ス弁当試食、ウォーキング、ストレッチ、講義
四谷	1 コース 5 回+フォロー
	参加費 1 コース 2,500 円
実績	夜間コース(9月~10月) 保健センター 延べ54人
大 視	日中コース(1月~3月) ケアポートみまき 延べ12人
スタッフ	(公財) 身体教育医学研究所 健康運動指導士 横井佳代氏
効果分析	短期間、少人数の個別指導で、参加者のほとんどに効果がありまし
	た。

(2)糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおける教室 ≪重症化予防教室≫

	糖尿病の治療中断を防ぎ、腎症重症化を予防するため、H26~H27
経過	東御市国保特定健診を受診した者のうち HbA1c が 7.0 以上の者に対
	し、治療中断予防を目的に実施しました。
	アンケートの実施(59 名送付 39 名返送)
内容	保健指導の実施(訪問・面接・電話にて実施)
	相談会の実施(3月10日 3名参加)

4. 出前講座

	健康保健課担当講座	利用団体	延人数
No.22: すこや	No.22: すこやか親子でいこう!		
No.23 : Check	こころの健康	0	0
No.24 : Action	健康づくりウォーキング講座	1 0	2 3 5
No.25 : Action	からだ動かして、すっきり改善教室	5	3 6 6
No.26 : Check	自分の体、たしかめてガッテン	1 2	3 2 4
No.27 : Check	市のがん検診の受け方	0	0
No.28: Eat	今日からはじまる減塩生活	1 3	3 1 4
No.29 : Eat	健康に食べるってなあに?	4	1 2 4

5. 健康教育としての PR 事業

実施日	イベント等	内容・実績	
9.17~18	巨峰の王国まつり	健康相談・脈派測定	計 263 名
		食塩クイズ	計 96 名
		ナース服体験	計 37 名
10.8~9	火のアートフェス	健康相談・脈派測定	計187名
	ティバル	食塩クイズ	計5名
		血圧測定	計 102 名

6. 関係機関との連携

(1) 地域連携

市内5地区(田中・滋野・袮津・和・北御牧)の保健補導員会を始めとして、 地域づくり支援員、地域づくりの会、地域の役員との連携を図りながら地域ご との健康課題の報告会等開催について、地区担当保健師が調整を行いました。 今年度初めての試みのため、地域一律とはいきませんが、まずは地域の方々 との関係づくりをはじめ、地域ごとの課題を知ってもらう一助となりました。

(2) 職域連携

市商工観光課の協力のもと、市工業振興会総会の出前講座講師を務め、職場の健康づくりと健康経営について話す機会を得ました。

また、市の出前講座を伝え、職場の健康づくりにいかしてもらう働きかけを 開始しました。

11月5日には、市内(株)日信工業のゴミ拾い事業に、ウォーキングをマッチングさせた事業を行い、健康づくり啓発を行いました。

(3) 庁内連携

5月24日の「チャレンジデー」をはじめ、市民の健康づくりに庁内連携して取り組みました。健康マイレージのポイント付与、早朝と夕刻のウォーキング教室を開催しました。

また、健康マイレージ事業のずくだすポイントキャンペーンでは、ポイント付与対象事業として、各課のイベント等(市民まつり、巨峰まつりや介護予防教室等)を対象事業に盛り込むなど市民が参加するメリットを付加しました。

7. 「けんこうとうみ+10ミニッツ」事業

(1) 趣旨

市の健康水準を上げて健康寿命を延ばし、健康なまちづくりを実現するため、市の健康 資源、観光資源等を活用し、日常生活を大きく変えず、簡単に実践できる各種健康づくり を市民に気軽に取組んでもらい、自らの健康をコントロールする健康意識の向上を図る ことを目的とし、平成26年度から事業開始しました。

(2) 対象者 市内に住所を有する4月1日で16歳以上の方

(3) 実施期間 平成28年5月中旬~平成29年3月31日

(4) 事業委託先 公益財団法人 身体教育医学研究所

(5)「プラス10ミニッツ」事業実績

①無料レンタルポールの設置

3種類のポールセットを用意し、次の施設で貸し出しています。

・ ポールウォーキング用ポール【PP】: 安心歩き、ポールを前方につくタイプ

・/ルディックウォーク用歩ミングポール【AP】: しっかり歩きタイプ

・ノルディックウォーキング用ポール【NP】: ぐいぐい歩き、ポールを後方につくタイプ

施設名・設置セット数	PΡ	ΑP	NΡ	合計
第一体育館	2	2	3	7
中央公民館	2	2	3	7
滋野コミュニティーセンター	2	2	3	7
祢津公民館	2	2	3	7
和コミュニティーセンター	2	2	3	7
北御牧公民館	2	2	3	7
ゆうふる田中	2	2	3	7
湯楽里館	2	2	3	7
明神館	2	2	3	7
御牧の湯	2	2	3	7
アクティブセンター	2	2	3	7
(公益)身体教育医学研究所	4	4	8	1 6
健康保健課	2	2	3	7
合 計	2 8	2 8	4 4	100

②健康ウォーキングマップ作成

次の3コースのマップを新規作成。計14コースが揃いました。

・袮津地区:東御中央公園 ・和地区:大田区休養村とうぶ

• 滋野地区:羽毛田工業団地

③健康ウォーキング教室開催

	月日	場所	参加者人数
1 • 2	5月25日	AM6:30~7:00 東御中央公園・18:30~19:00 (同)	14.20
3	7月23日	AM6:30~7:30 大田区休養村周辺コース	8
4	7月30日	AM8:00~9:00 道の駅雷電くるみの里コース	23
5	8月20日	AM9:00~10:00 湯の丸高原地蔵峠付近コース	43
6	9月3日	AM6:00~7:00 海野宿周辺コース	18
7	9月24日	AM8:30~9:30 御牧の湯周辺	6
8	10月10日	AM9:30~10:30 湯楽里館周辺	8
9	10月15日	AM9:30~11:00 東御中央公園	30
10	10月22日	AM9:30~10:30 ゆうふる田中	1
11	11月5日	AM7:30~8:30 県周辺	16
12	11月5日	AM8:30~9:30 羽毛田工業団地(㈱日信工業)	80
13	11月9日	AM10:00~11:00 明神池周辺	9
14	11月12日	AM10:00~11:00 和コミュニティセンター周辺	25
15	2月22日	PM13:30~15:00 東御中央公園	17
16	2月28日	PM13:30~15:00 ふれあい体育館周辺	11
17	3月6日	PM13:30~15:00 東御中央公園	16

④健康づくり講演会「ずくだす講演会」

計 345 人

- ・日 時 平成28年10月14日(金)午後1時30分~15時
- •場 所 中央公民館3階 講堂
- •講師 信州大学大学院医学系研究科 教授 能勢 博氏
- ・演題 「歩き方を変える」だけで10歳若返る!
- ・参加者数 115人(翌15日参加:30人「ずくだすウォーキング教室」)

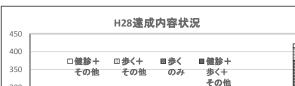
(6)「健康マイレージ事業」事業実績

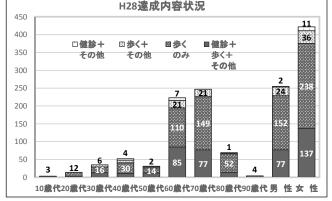
健康づくり対象事業に参加し、「TOMIずくだすカード」でポイントを集め、15点満点となった方は、日帰り温泉施設入浴券、オリジナルグッズから1点がもらえ、更にダブルチャンスとして満点ポイントカードは応募券となり、抽選でペア素泊まり補助券(ペアで10,000円分、施設:うんのわ、明神館、大田区休養村)が当たるもので、健康づくり意識の向上と持続を目的とします。27年度から1人2枚以上のポイント達成を可能とし、28年度からは湯の道カードを導入しました。

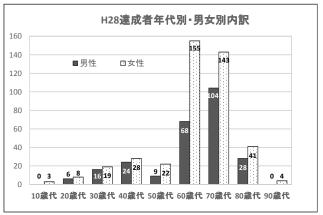
- ・ずくだすポイントカード配布枚数 9,985 枚 (H27:9,602 枚)
- ・湯の道カード配布枚数 12,170 枚
- ・ポイント満点達成者数 718 人(H27:606 人)(ずくだす:678 人、湯の道 40 人)
- ・2 枚目以上の達成者延数 864 人 (H27:676 人) (ずくだす:637 人、湯の道 227 人)
- ・合計ポイント満点達成延数 1,582 人(H27:1,282 人)(ずくだす: 1,315 人、 湯の道 267 人)
- ・湯の道カード横綱達成者12人 (最高枚数は1人で19枚(532km)達成)
- ・ペア素泊まり補助券当選者 10人 (H27:10人)

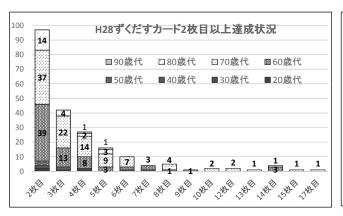
平成28年度 健康マイレージ事業実績 くく ずくだすカード >>

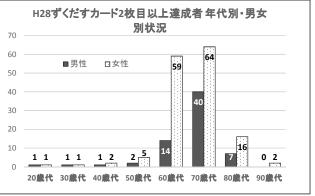
(単位:人)



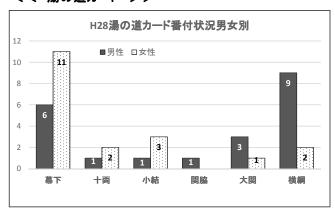


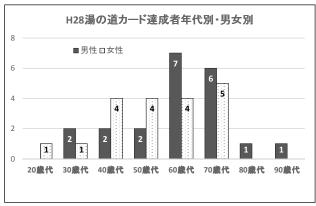


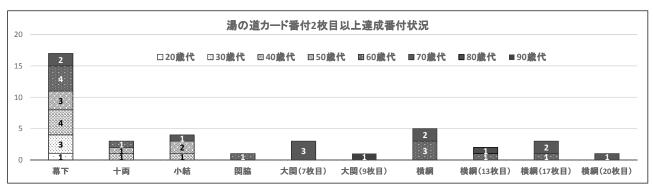




くく 湯の道カード >>







Ⅷ 東御市保健補導員活動

1 保健補導員会活動

「自分たちの健康は自分たちで守りましょう。」をスローガンに掲げ、行政が行う保健事業に協力し、心身ともに明るく健康的な生活が営めるよう、地域ぐるみの健康づくりを展開し、市民の健康保持・増進を図る人として、市が委嘱しています。

会長:内川春美(北御牧) 副会長:澤田澄子(北御牧)

理事:各地区2名(地区正副会長)

会員 田中地区:87名 滋野地区:79名 袮津地区:72名 和地区:58名

北御牧地区:49名 合計345名

(1) 理事会

	1	2	3	4	5
日付	4月20日	5月18日	8月31日	1月11日	3月21日
人数	8	10	9	9	2
内容	・委嘱式準備 ・地区や区の活動 について ・今後の活動、研 修について	・委嘱式反省・研修会準備・補導員回覧について	・研修会準備 ・ウォーキング マップについて ・補導員回覧につ いて	・研修会準備 ・次年度引継ぎに ついて ・報告書について	次期役員引継ぎ

(2) 保健補導員に選出依頼された委員等

委員名	人数	事務局	担当理事
東御市介護保険運営協議会委員	1	福祉課	田口(滋野)
東御市地域福祉推進計画委員	1	福祉課	荻原(田中)
東御市国保運営協議会副会長	1	市民課	冨山(田中)
東御市民病院運営委員会委員	1	東御市民病院	小松崎(袮津)
東御市健康づくり推進協議会委員	2	健康保健課	小松崎·木村(袮津)
チャレンジデー実行委員	1	生涯学習課	澤田(北御牧)
高地トレーニング施設誘致推進市民会議	1	生涯学習課	澤田(北御牧)
公益財団法人身体教育医学研究所評議員選任等委員	1	公益財団法人身体教 育医学研究所	内川(北御牧)
みまき福祉会評議員	2	みまき福祉会	黒木 (滋野) ・高橋(和)
東御市社会福祉協議会評議員	1	東御市社会福祉協議 会	荻原(田中)
上小保健補導員等連絡協議会代議員(1名は上小会長として)	2	上小保健補導員等連 絡協議会	黒沢(和)·内川(北御牧)

(3) 全体研修会

日付	内容	場所	人数
4月25日	委嘱式・総会・保健補導員活動について	中央公民館	229
5月25日	「糖尿病をくいとめるために」	総合福祉センター	136
10月14日	ずくだす講演会「歩き方を変えるだけで10歳若返る!」に参加	中央公民館	84
2月17日	平成28年度活動報告会	総合福祉センター	140

(4) 市外等研修会参加

日付	内容	場所	人数
9月8日	第31回上小保健補導員等研究大会	東御市中央公民館	56
9月30日	第44回長野県保健補導員等研究大会	ホクト文化ホール	14
11月13日	第11回小県医師会健康フォーラム	セレスホール	7
11月25日	第34回上小地域健康のつどい	健康プラザうえだ	7

(5) 地区活動

地区	目付	内容	場所	人数
	5月下旬	特定健診受診勧奨及び受診券配布	各区	
	6月10日	調理実習	保健センター	12
	8月29日	糖尿病予防学習会	中央公民館	20
田中	9月3日 11月5日	ウォーキング教室	海野宿周辺 中央公民館周辺	7 7
	2月1日	田中地区の健康状況を学ぶ学習会	中央公民館	32
	3月21日	新旧引継ぎ会	総合福祉センター	3
	5月下旬	特定健診受診勧奨及び受診券配布	各区	27
	6月16日 (AM)	食の学習と調理実習	保健センター	18
	6月16日 (PM)	ストレッチ体操とウォーキングの基本	保健センター	15
滋野	7月30日	ずくだすウォーキング教室参加	道の駅雷電くるみの里	13
	11月26日	ウォーキング講座	滋野コミュニティーセンター	16
	2月4日	滋野地区の健康状況を学ぶ学習会	滋野コミュニティーセンター	26
	3月11日	反省会	滋野コミュニティーセンター	18
	5月11日	血管と動脈硬化学習会	祢津公民館	25
	5月下旬	特定健診受診勧奨及び受診券配布	各区	
	6月30日	調理実習	保健センター	16
	8月20日 10月19日	ウォーキング教室	湯の丸高原 祢津公民館周辺	18 9
祢津	9月6日	こころの健康づくり講座	保健センター	13
	11月16日	血圧と減塩の学習	保健センター	19
	12月13日	祢津地区の健康状況を学ぶ学習会	祢津公民館	13
	1月25日	活動報告会について	保健センター	15
	3月8日	新旧引継ぎ会	保健センター	22
	5月下旬	各区内において特定健診受診券配布説明し受診勧奨	各区内	
	6月15日	調理実習	保健センター調理室	18
¥π	7月11日	減塩学習会	ケアポートみまき	21
和	11月12日	インターバルウォーキング講習会	和コミュニティセンター周辺	19
	1月18日	和地区の健康状況を学ぶ学習会・活動報告会について	和コミュニティセンター	23
	3月8日	新旧引継ぎ会	和コミュニティセンター	40
	5月下旬	各区内において特定健診受診券配布説明し受診勧奨	各区内	
	6月14日	調理実習・尿中塩分調査について	保健センター調理室	7
コレ<i>公</i>:n ル レ	7月8日	ストレッチと減塩学習	ケアポートみまき	14
北御牧	9月13日	AED講習会	北御牧公民館	8
	11月9日	ポールウォーキング講習会	芸術むら公園周辺	4
	3月6日	北御牧地区の健康状況を学ぶ学習会、総会・新旧引継ぎ会	北御牧公民館	47

(6) 協力事業

- 5月 特定検診・がん検診受診のお勧め活動
- 8月 胸部レントゲン検診補助
- 2月 特定検診・がん検診申込書の配布と回収

2 上小保健補導員会等連絡協議会

平成27年~28年度は東御市が事務局の担当となっており、会長に黒沢二美江和地区会長と、代議員に内川春美滋野地区副会長を選出し、活動にあたって頂きました。

	日付	内容	場所	
全体研修会	9月8日(木)	第31回上小保健補導員等研究大会	東御市中央公民館	黒沢·内川
	5月30日(月)	第1回役員会(総会)及び研修会	東御市保健センター	黒沢·内川
役員会	8月3日(水)	第2回役員会	東御市総合福祉センター	黒沢
仅貝云	9月8日(木)	第3回役員会	東御市中央公民館	黒沢·内川
	2月20日(月)	第4回役員会及び研修会	東御市総合福祉センター	黒沢
	5月30日(月)	第1回代表者会議	東御市保健センター	黒沢
代表者会議	8月3日(水)	第2回代表者会議	東御市総合福祉センター	黒沢
	2月20日(月)	第3回代表者会議	東御市総合福祉センター	黒沢
長野県保健補	6月8日(水)	代議員·支部事務担当者合同会議	松本キッセイホール	黒沢
導員会等連絡	9月30日(金)	第44回長野県保健補導員等研究大会	長野県ホクト文化ホール	黒沢
協議会事業	3月8日(水)	代議員·支部事務担当者合同会議	長野県看護協会会館	黒沢
その他	11月13日(日)	第20回上小「いい歯の日」フェスタ	サントミューゼ	
-C ∆\li⊓	年4回	信州上小医療センター地域医療諮問委員会	信州上田医療センター	黒沢

3 保健補導員0B会活動

保健補導員の任期終了後、「自分の健康は自分で守ろう」という目的で、自分のため、域のために、活躍している皆さんの会です。20名の会員がさまざまな活動をしています。 (1) 定例会と自己学習の状況

(1) //	
日付	内 容
4月26日	総会
9月6日	定例会 (研修会について)
10月7日	視察研修 (木曽町)
3月	定例会(29年度の活動について)

(2) ボランティア活動

- ①消防署の応急手当普及員として市内5小学校救急救命講習会、日赤奉仕団救急救命講習会を手伝いました。
- ②地域包括支援係の行う「脳いきいき教室」を手伝いました。
- ③市民病院でリフォーム繕いやウエス切り、新聞たたみ等を行いました。
- ④福祉の森ふれあいフェスティバル等に参加しました。

IX その他

1. 保健センター健康相談利用状況

単位:人(延べ人数)

区 分 /	年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
母子健康相談	乳児	349	338	256	307	324	222	197
(育児、発育、発達等)	幼児	400	442	429	343	346	300	255
こころの相談 (H24~)				11	12	14	15	25
その他(妊産婦、学童、原	3	6	0	12	7	3	2	
合 計	752	786	696	674	691	540	479	

「母子健康相談」(毎週火曜日)の開催日数は 年間 50 日で、一日平均利用者数は 9人でした。乳幼児健診後の相談及び離乳食、子育てに関する相談が主でした。 一人平均利用回数は、乳児が 2.3 回、幼児が 2.1 回でした。

「こころの相談」は毎月1回(2枠)、予約制で実施しました。

なお、成人の健康相談については、事務所窓口において随時実施しました。

2. 人間ドック補助金等助成状況

(単位:人)

区分 / 年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
①人間ドック(国保)	643	663	723	732	726	758	750
②脳ドック(国保)						4	2
③市内医療機関受診者	429	449	438	455	423	438	442
④節目年齢	16	20	17	14	8	12	11
⑤後期高齢者	84	82	118	147	141	164	171

市内に住所のある40歳以上の者を対象に、以下の助成をしました。

- ① 東御市国民健康保険加入者の人間ドックは、半日:15,000円、1日:20,000円、 特定健康診査:5,000円助成(内訳:償還払い103人 受領委任払い647人)
- ② 東御市国民健康保険加入者の脳ドックは、一律 13,000 円助成 (H27 年度から開始)
- ③ 市内医療機関で受診した者は、医療保険を問わず一律 5,000 円助成 (内訳:東御市民病院受診者 442 人)
- ④ 40 歳、50 歳、60 歳の節目年齢の者は、医療機関の指定を問わず上限 5,000 円助成 (内訳:市外医療機関 11 人)
- ⑤ 後期高齢者:一律15,000円(内訳:償還払い8人 受領委任払い163人)

3. 健康づくり推進協議会

市民の健康づくりに関する重要事項を調査審議するとともに、総合的な健康づくり施策を積極的に推進するための協議会です。

保健事業の実施状況等を報告し、今後の事業展開等について意見をいただきました。

開催日 : 平成 28 年 8 月 24 日

協議事項:健康づくり計画の進捗状況について

出席:委員14名中10名出席

4. 献血推進

市内事業所等の協力を得て、移動採血車による献血を実施しました。 〈平成 28 年度〉

実施場所	延べ回数(回)	献血者数(人)
保健センター	2	49
市民病院	1	8
協力事業所(15事業所)	22	477
計	25	534

1. 特定健康診查、特定保健指導実施状況

◎ 平成28年度実施状況(推計)

1. 特定健診の対象者

人 口 30,720 人(H28. 4. 1現在) 国保加入者 7,907 人(H28. 3. 31現在) **国保40~74歳(受診券作成数)** 5,917 人(H28. 4. 1現在)

2. 特定健診の内容

<特定健診> 委託先 市内医療機関に委託および

県医師会との集合契約も併せて締結

実施期間 個別:H28年6月1日~29年1月31日

<特定保健指導> 市で実施

一部医療機関、(公)身体教育医学研究所へ委託

受診率(40歳~74歳)					
H18年度	24%				
H19年度	28%				
H20年度	36.5%				

3. 実施目標と実績

	年度	22	23	24	25	26	27	28
目標	特定健診の受診率	55%	60%	65%	50%	50%	50%	50%
日保	特定保健指導の実施率	41%	44%	47%	50%	50%	50%	50%
	該当者・予備群の減少率			10%減少				

	年度	22	23	24	25	26	27	28
実績	特定健診の受診率	37.2%	38.6%	43.2%	43.7%	44.0%	45.4%	42.7%
	特定保健指導の実施率 (終了率)	30.2%	23.7%	46.1%	61.5%	59.1%	65.4%	61.3%

(H28年度は推計値)

4. 特定健診受診状況

(H29.6.2現在の把握状況。国の法定報告は翌年度冬に確定のため、推計値を計上)

単位:人

		東御市国	保特定健診	(40~74歳)			
受診者数	健診	人間ドック等	治療中 (医療機関の 情報提供書)	治療中 (本人のデー タ提供者)	小 計	対象者数	受診率 (%)
合 計	1,470	732	27	73	2,475	5,802	42.7%

<状況内訳>

① 健診受診者の年代別・性別受診者数

単位:人

					十四・八
年代別	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	特定健診受診者
受診者数	108	151	742	469	1,470

単位・人

			十匹・八
男女別	男性	女性	特定健診受診者
受診者数	612	858	1,470

② 地域別受診率

地区名	田中	滋野	祢津	和	北御牧	合計
受診率(%)	38.64%	46.01%	44.20%	42.00%	44.39%	42.66%

◎ 平成28年度 保健指導実施状況

1. 目標値と実績(法定報告より)

1 1 1/31 1		. ,				
11 -1-	年度	H24	H25	H26	H27	H28
特 定	目標値 (実施率)	47%	50%	60%	60%	60%
保健	実績	46.1%	61.5%	59.1%	65.4%	
指導	対象者数	382人	327人	342人	344人	
导	実施者数	176人	201人	202人	225人	
健 診	対象者数(男)	1,106	1,106	1,091	1,139	
者受	対象者数(女)	1,310	1,345	1,357	1,378	

診 者 受	対象者数(男)	1,106	1,106	1,091	1,139	
者受	対象者数(女)	1,310	1,345	1,357	1,378	
	男•該当者数(率)	366(33.1%)	363(32.8%)	315(28.9%)	351(30.8%)	
	女•該当者数(率)	168(12.8%)	134(10.0%)	141(10.4%)	138(10.0%)	
内	該当者	534人	497人	456人	489人	
臓脂	率	22.1%	20.3%	18.6%	19.4%	
肪	男•予備群(率)	174(15.7%)	174(15.7%)	192(17.6%)	196(17.2%)	
症候	女・予備群(率)	83(6.3%)	88(6.5%)	94(6.9%)	75(5.4%)	
群	予備群	257人	262人	286人	271人	
	率	10.6%	10.7%	11.7%	10.8%	
	内臓脂肪症候群の該 当者の減少率	23.7%	24.3%	27.1%	18.7%	

(国保連合会法定報告データより)

(人)

2. 平成28年度実施方法等

(1)実施者および委託状況

①委託実施分

区分	内容	人数	東御市民病院	佐久総合病院	小諸厚生病院	身体教育医学 研究所
け動 支機 援付	初回面接	90	27	14	3	46
	評価	46	31	12	3	
支援極的	初回面接	17	9	3	0	5
	評価	0	0	0	0	

②直営実施分(健康保健課 保健師・管理栄養士)

区分	内容	対象者	実施人数
け動	年度内終了者	108	5
支機	初回面接のみ	100	81
援付	評価のみ	141	123
₊ 積	年度内終了者	51	0
文極	初回面接のみ	91	32
的	評価のみ	49	23

(2)自己負担金

平成28年度 特定健診受診勧奨活動記録(地区集計)

各地区担当者の入力数を集計(H29.6.2現在)

	田中	滋野	祢津	和	北御牧	計	備考
保健補導員訪問	1399	1013	771	1581	919	5683	受診券配布訪問
地区担当保健師訪問	150	11	53	81	0	295	ローラー作戦
保健師☎	198	3	22	17	20	260	集団健診受診勧 奨
保健師手紙	0	1	0	0	0	1	
地区担当栄養士訪問	22	20	22	42	0	106	ローラー作戦
栄養士	41	105	37	81	42	306	集団健診受診勧 奨
栄養士手紙	4	0	8	1	0	13	
ハガキ	1542	1301	1021	1390	1316	6570	
回覧板	0	0	0	0	0	0	
地区行事での勧奨	0	95	0	5	244	344	
委託保健師依頼	0	96	29	149	99	373	訪問・電話含む
승計	4319	2645	1963	3347	2640	13951	_
(参考: H28. 推計受診率)	38. 64%	46. 01%	44. 20%	42.00%	44. 39%	42. 7%	

1. 受診率向上のために実施した事業

(1) 広報活動

- ・「市報とうみ」にて「生き活き長生き健康とうみ」に健康情報掲載(4.6.8.10.12.2月)
- 「FMとうみ」でのPR (毎月1回)
- ・ポスターの掲示(市内医療機関、各区公民館、市役所)
- ・「巨峰の王国まつり」、「火のアートフェスティバル」等行事での健康相談や特定健診PR
- ・国民健康保険証郵送時にパンフレット同封
- ・出前講座での健診PR

(2) 対象者への啓発

- 対象者全員に受診券送付
- ・保健補導員による受診券の配布や声掛活動
- ・地区担当保健師・栄養士による個別の受診勧奨訪問や電話勧奨
- 5ヵ年で全地区ローラー作戦実施
- ・集団健診実施にあわせ、電話がけにて勧奨
- ・対象者別ハガキによる受診勧奨
 - (9.2月情報提供依頼・10.12月集団健診個別健診・12月個別健診人間ドック補助金)
- 新規国保加入者へのハガキ通知

(3) 医療機関との連携

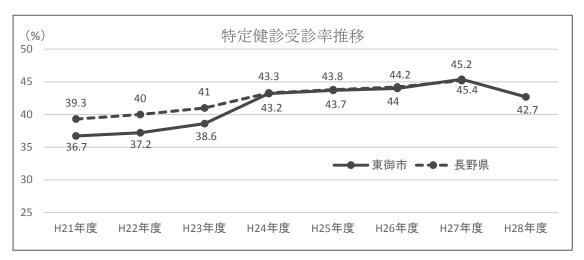
- ・医人会での特定健診、情報提供の依頼
- 情報提供依頼の通知
- ・東御市民病院医事課との連携

◎ 平成27年度実施実績

1. 特定健診受診状況

			(人)
	東御市	長野県	国
特定健診対象者数	5, 546	365, 431	
特定健診受診者数	2, 517	165, 170	
(特定健診受診率)	45.4%	45.2%	36.3%

*資料:平成28年度国保保険者における特定健診等結果状況報告書

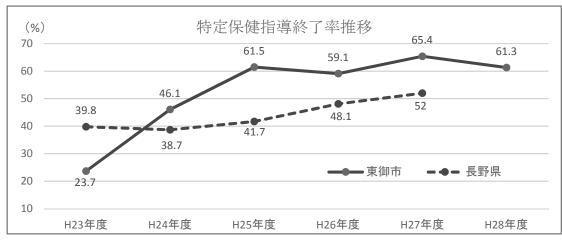


*平成28年度は推計値

2. 特定保健指導終了率

			(人)
	東御市	長野県	国(速報値)
対象者数	344	17, 034	
終了者数	225	8, 855	
終了率	65.4%	52.0%	25. 1%

*資料:平成28年度国保保険者における特定健診等結果状況報告書



*平成28年度は推計値

2. 食育推進事業実施状況

	項目	事 業 名	回数	延べ人数
计计	【マタニティー教室】 【乳幼児健診】 【離乳食教室】	もうすぐパパママ学級 4ヶ月・10ヶ月・1歳6ヶ月・3歳児健診 ごっくん離乳食教室(満5ヶ月児対象) もぐもぐ離乳食教室(満8ヶ月児対象)	4 48 12 12	26 877 155 154
幼児期の食育	【個別の栄養相談】	乳児対象(うち電話)(うち訪問)幼児対象(うち電話)(うち訪問)妊産婦対象(うち電話)		116 38 5 21 3 0 0
	【食生活改善推進協議会】	(うち訪問) 会員学習会・料理講習会	5	0 109
成人期の食育	【出前講座】	田中地区保健補導員会 物津地区保健補導員会 物津地区保健補導員会 和地区保健補導員会 北御牧地区保健補導員会 出場区保健補導員会 西入区保健補導員会 西入区保健補導員会 西入区保健補導員会 西入区保健補導員会 要林北区区保健輔導員会 要本 大 と の 本 で 大 学) 女性学級 東御市高 お 本 で と うみ で 大 で か ま き 高 に か と うみ (小計)	1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	12 18 16 18 21 25 16 6 69 23 35 7 65 25 30 14 45 20 20 (485)
	【栄養指導・相談】	一般個別指導 20歳以上 (うち訪問件数) 65歳以上 (うち訪問件数)		32 0 9 1
	【特定保健指導の実施】	特定保健指導 動機づけ・積極的支援 (うち訪問件数)		142 40
	【保健指導】	情報提供 (2次・詳細健診など) (うち訪問件数) 医療と連携(CKD・DM・重症高血圧など) (うち訪問件数)		40 320 21 153 41
	<u> </u>	延べ合計	101	2599

推	食育推進市民会議開催	1回
進	庁内食育推進会議開催	1回
体	食育推進ネットワーク会議全体会	2回
制		

運動指導等委託事業実績 (公益財団法人身体教育医学研究所委託事業) 3.

1. 集団運動指導の状況

(人)

1. 果凹連動拍导仍依仍							
実施日	依頼団体等	内 容	延べ人数				
4月17日	大石公民館	ウォーキング講座	100				
6月1日	大石ボランティア	からだ動かして、すっきり改善教室	15				
6月18日	金井区保健補導員会	からだ動かして、すっきり改善教室	20				
6月23日	赤岩区福祉運営委員	からだ動かして、すっきり改善教室	13				
6月24日	東御市農業者年金協議会	ウォーキング講座	25				
9月24日	東御市聴覚障害者協会	ウォーキング講座	4				
9月28日	布下保健補導員会	からだ動かして、すっきり改善教室	13				
10月5日	東御市食生活改善推進協議会	ウォーキング講座	16				
10月7日	ぴょんぴょんくらぶ	からだ動かして、すっきり改善教室	60				
10月15日	原口保健補導員会	ウォーキング講座	20				
10月22日	常田区補導員会	ウォーキング講座	19				
10月25日	海善寺北保健補導員会	からだ動かして、すっきり改善教室	30				
11月12日	新屋区保健補導員会	ウォーキング講座	23				
11月26日	滋野地区保健補導員会	ウォーキング講座	15				
1月21日	城ノ前区保健補導員会	ウォーキング講座	13				
2月17日	東御市保健補導員会	からだ動かして、すっきり改善教室	150				
2月22日	上田地域シルバー人材センター東御支所	からだ動かして、すっきり改善教室	25				
3月12日	東深井分館	からだ動かして、すっきり改善教室	40				
	延べ合	計	601				

4. 第2次東御市健康づくり計画「健康とうみ21」評価項目(進捗状況)

	市の評価項目	市の現状値	H28の現状値	市の目標(H31)
基本的 な目標	健康寿命の延伸(日常生活動作が自立している期間の平均の延伸)	男性 80. 10年 女性 82. 55年 (H22)		延伸
	健康格差の縮小(日常生活に制限のない期間の縮小)	男性 1.82年 女性 3.70年 (H22)		縮小
基本方針	1 自らの健康は自らつくる			
	全出生数中の低出生体重児の割合	(7)すこやか親子の推進へ		
	肥満傾向(カウプ指数16.5以上)の幼児の割合	3歳児 17.4% 5歳児 15.8% (H26)	3歳児 22.0% 5歳児 13.5% (H28)	現状維持
î	肥満傾向の子どもの割合	小学生 男子 10.0% 女子 8.0% 中学生 男子 6.7% 女子 4.8% (H26)	小学生 男子 10.2% 女子 7.3% 中学生 男子 8.9% 女子 10.0% (H28)	現状維持
食育の推進	やせ傾向の子どもの割合	小学生 男子 0.1% 女子 1.0% 中学生 男子 1.2% 女子 2.2% (H26)	小学生 男子 0.9% 女子 0.8% 中学生 男子 3.0% 女子 5.7% (H28)	現状維持
	肥満者(BMI25以上)の割合	20歳~69歳男性 33.3% 40歳~69歳女性 18.4% (H26)	20歳~69歳男性 31.6% 40歳~69歳女性 18.8% (H28)	減少
	やせ(BMI18. 5未満)の割合	20歳~39歳女性 21. 2% (H26)	20歳~39歳女性 21. 4% (H28)	現状維持
	毎日朝食を食べる児童・生徒の割合	小学6年生 88.3% 中学3年生 86.1% (H26)	小学6年生 85. 8% 中学3年生 87. 8% (H28)	増加
(2)適塩	家族や友人等2人以上での食事を楽しいと思う者の割合	小学5年生 89. 3% 中学2年生 73. 1% (H25)		增加
推進	「バランスのとれた食生活」をいつも心がけている者の割合	47% (H25)		増加
<u>Æ</u>	「食塩の多い料理を控えること」をいつも心がけている者の割合	42% (H25)		増加
	「野菜をたべること」をいつもいつも心がけている者の割合	66% (H25)		増加
3	運動やスポーツを習慣的に(体育の授業を除き週3回以上) している子どもの割合(3ヵ年の平均値)	小学5年生 34.9% 中学2年生 64.6% (H24~26年度の平均値)		增加
運動の推進	1日当たりの平均歩行数	64歳以下 男性 6184歩 女性 5450歩 65歳以上 男性 5296歩 女性 4634歩 (H25)		增加

		市の評価項目	市の現状値	H28の現状値	市の目標(H31)
基本方	針	1 自らの健康は自らつくる			
	3	30分以上の運動を週1~2回以上実施している割合	男性 40.2% 女性 38.8% (H25)		増加
道) 連身 動	集団運動教室の参加者数	875人 (H26)	946人 (H28)	増加
推進	重動 D 能能 身体活動・	要介護認定者の出現率	18. 45% (H26)		20%以下
		3歳でむし歯のない幼児の割合	85. 1% (H26)	86. 6% (H28)	現状維持
		5歳(年長)でむし歯のない幼児の割合	77. 1% (H26)	69. 1% (H28)	現状維持
		12歳(中学1年生)でむし歯のない生徒の割合	男子 64.6% 女子 67.8% (H26)	男子 48.8% 女子 46.6% (H28)	現状維持
	4	歯肉の状態に異常がある児童・生徒の割合	小学生11. 4% 中学生29. 5% (H26)	小学生10. 8% 中学生27. 4% (H28)	現状維持
.	健康	40歳における進行した歯周炎を有する者の割合(3ヵ年平均値)	53.9% (H24~H26の平均値)	66. 1% (H28)	減少
	的 な	妊娠中の喫煙率	第5章1節 すこやか親子の推進へ		
	康的な生活習慣の	妊娠中の飲酒率		-	7
		未成年者の喫煙率(「時々喫煙」、「毎日喫煙」と回答した者の割合)	中学1年 男子 2.0% 女子 0.7% (H26)		Ο%
	推進	未成年者の飲酒割合(月1~2回以上の飲酒があると回答 した者の割合)	中学1年 男子 3.9% 女子 1.4% (H26)		О%
		成人(40~74歳国保加入者)の喫煙率	男性 20.7% 女性 4.6% (H26)	男性 20.9% 女性 4.9% (H27)	現状維持
		生活習慣病のリスクを高める飲酒をする(40~74歳国保加入者)割合(男性1日2合以上、女性1日1合以上の飲酒者)	男性 9.3% 女性 4.8% (H26)	男性 10.5% 女性 5.6% (H27)	現状維持
		自殺死亡 標準化死亡比(5ヵ年の平均値)	男性 81 女性 69 (H20年~H24年の平均値)		減少
	5	睡眠の状況に満足している者の割合	80. 1% (H26)		増加
)こころの	ストレスが過度であると感じている者の割合	男性:8.4% 女性:15.2% (H26)		減少
	健	ストレスがあると感じている者の割合	男性:38. 1% 女性:45. 3% (H26)		減少
	康づくこ	自分にあったストレスの対処法を知り、実践している者の割 合	男性: 77. 0% 女性: 70. 3% (H26)		増加
	IJ	ゲートキーパー人材育成講座修了者の、こころの相談に 関った者の割合	71% (H26)		増加
		こころの健康について不安がとてもある者の割合	4. 3% (H26)		減少

	市の評価項目	市の現状値	H28の現状値	市の目標(H31)				
基本方針	基本方針 1 自らの健康は自らつくる							
(6)生活習慣病の発症予防・重症化予防(循環器疾患)	特定健康診査受診率	44. 0% (H26)	45. 4% (H27)	50%以上				
	特定保健指導実施率	59. 1% (H26)	65. 4% (H27)	50%以上				
	正常高値血圧以上(40~74歳国保加入者)の割合	男性 51.4% 女性 38.5% (H25)	男性 45.5% 女性 34.1% (H27)	減少				
	Ⅱ 度高血圧以上(40~74歳国保加入者)の割合	男性 6.1% 女性 4.6% (H25)	男性 4.3% 女性 3.0% (H27)	減少				
	脂質異常症(LDLコレステロール160mg/dl以上)(40~74歳国保加入者)の割合	男性 10.1% 女性 14.3% (H25)	男性 8.0% 女性 12.2% (H27)	減少				
	メタボリックシンドローム該当者(40~74歳国保加入者)の 割合	男性 32.8% 女性 10.0% (H25)	男性 30.8% 女性 10.0% (H27)	減少				
	メタボリックシンドローム予備群(40~74歳国保加入者)の 割合	男性 15.7% 女性 6.6% (H25)	男性 17. 2% 女性 5. 4% (H27)	減少				
	新規介護保険2号被保険認定者のうち、生活習慣病を起因とする認定の割合(4カ年の平均値)	43.5% (H23~H26の平均値)		減少				
	65歳未満の死亡者のうち、脳・心疾患原因による割合(4ヵ 年平均)	男性 22.9% 女性 19.0% (H24~H26の平均値)	男性 21.7% 女性 0.0% (H28)	減少				
(糖尿病)	HbA1c値6. 5%以上(40~74歳国保加入者)の割合	男性 12.6% 女性 5.7% (H25)	男性 12. 7% 女性 6. 6% (H27)	減少				
	HbA1c8. 4%以上(40~74歳国保加入者)の割合	男性 1.3% 女性 0.5% (H25)	男性 1.1% 女性 0.4% (H27)	減少				
	糖尿病性腎症による新規人工透析者数(障がい者手帳取得者のうち4カ年の平均値)	3.3人 (H23~H26の平均値)		減少				
(が ん)	がん検診受診率	胃がん 62.2% 肺がん 60.8% 大腸がん 56.6% 子宮頸がん 55.0% 乳がん 48.1% 前立腺がん 47.2% (H25)		增加				
	がん検診精密検査の受診率 (胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん検診精密検査受診率の平均 値)	74. 4% (H26)	82.6% (H28)	100%				

	市の評価項目	市の現状値	H28の現状値	市の目標(H31
本方針	2 健康を支える環境づくり			
(7)すこやか親子の推進	全出生数中の低出生体重児の割合	8. 5% (H26)	8. 2% (H28)	増加の抑制
	妊娠11週以下での妊娠届出率	92. 4% (H26)	94. 0% (H28)	100%
	妊娠中の喫煙率	3. 1% (H26)	2. 0% (H28)	0%
	妊娠中の飲酒率	0. 9% (H26)	1. 0% (H28)	0%
	両親学級初産婦参加率	42. 9% (H26)	36. 4% (H28)	60%
	新生児訪問実施率	98. 7% (H26)	97. 6% (H28)	100%
	産後うつ傾向にある母親(EPDS 9点以上)の割合	15. 0% (H26)	11. 3% (H28)	減少
	乳幼児健康診査の受診率	4か月 97.4% 10か月 94.6% 1歳6か月児 96.0% 2歳児 90.7% 3歳児 98.0% (H26)	4か月 99.0% 10か月 97.8% 1歳6か月児 97.2% 2歳児 92.8% 3歳児 98.4% (H28)	增加
	早寝(21時前就寝)早起き(7時前起床)の生活リス'ムをしている親の割合	1歳6か月 早寝 41.0% 早起き 49.3% 3歳 早寝 30.4% 早起き 53.4% (H26)	1歳6か月 早寝 32.5% 早起き 43.1% 3歳 早寝 26.0% 早起き 55.3% (H28)	增加
	育児が楽しいと思える(まあまあ含)親の割合	1歳6か月 72.3% (H26)	1歳6か月 90.9% (H28)	増加
	家庭で子育てについて常に話し合えている家庭の割合	1歳6か月 95.5% (H26)	1歳6か月 94.7% (H28)	増加
	子育てについて相談できる友人や場が無いと感じる親の割 合	3. 7% (H26)	3. 0% (H28)	減少
	安心して医療につながると感じる親の割合	1歳6か月 95.3% (H26)	1歳6か月 88.0% (H28)	増加
	安心して子育てができる地域だと感じる親の割合	1歳6か月 97.5% (H26)	1歳6か月 91.4% (H28)	増加
	BCG接種率	86. 7% (H26)	93. 8% (H28)	95%
8	麻しん風しん混合ワクチン第1期予防接種率	74. 1% (H26)	101. 3% (H28)	95%
感染症対策	麻しん風しん混合ワクチン第2期予防接種率	94. 3% (H26)	95. 9% (H28)	100%
	胸部レントゲン受診率	24% (H26)	31. 1% (H28)	30%
	胸部レントゲン検診精密検査受診率	77. 8% (H26)	74. 0% (H28)	100%
保へ 健 9	保健補導員による受診勧奨世帯数	6, 467世帯 (H26)	6, O18世帯 (H28)	7, 000世帯
の・充地実域	近所の人と助け合う気持ちがある(非常にある~まあある) 者の割合	69. 3% (H25)		増加

5. 東御市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)

評価項目(進捗状況)

平成 27 年度東御市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画) を定め、 生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防 等の保健事業の実施及び評価を行うものとします。

なお、本市で策定する「第2次東御市健康づくり計画 健康とうみ21」で用いた 評価指標を用いるなど、整合性を図っています。

(1) 成果目標

今計画の目的は、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の死亡を減らし、 健康寿命を延伸させることです。

(ア) 中長期的な目標の設定

虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症を減らしていくことを目標としますが、早世予防の観点から、65歳未満の死亡原因のうち心疾患、脳血管疾患をはじめとする生活習慣病による死亡を減少させることを目指します。

中長期的な目標:虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症の減少を目指す。

評価項目	現状値	H28 年度	目標 (H29 年度)	備考
65 歳未満の死亡 者のうち、脳血管 疾患・心疾患によ る死亡者の割合	21.9% 男性 23.9% 女性 19.9%	16.7% 男性 16.7% 女性 0%	減少	H24~26 年の死亡者 の割合の平均 (保健衛生・65 歳未 満死亡者)
糖尿病性腎症によ る新規人工透析者 数	3.3人	3.0人	減少	(福祉課福祉援護係 障がい者手帳取得者 のうち平成24~27年 度の平均人数)

(イ) 短期的な目標の設定

基本的には、第2次東御市健康づくり計画「健康とうみ21」に準ずることとします。

短期的な目標:特定健診の検査項目について、危険因子の減少のため、数値の改善を目指す。

評価項目	現状値	H28 年度	目標値 (H29 年度)	備考
特定健診受診率	44.0% (H26 年度確定値)	45.4% (H27 年度法定報告)	50%以上	市総合 計画に 基づく
特定保健指導実 施率	59.1% (H26 年度確定値)	65.4% (H27 年度法定報告)	50%以上	市総合 計画に 基づく
メタボリックシ ンドロームの該 当者・予備群の 割合	該当者 20.3% (496 人) 男性:32.8% 女性:10.0% 予備群 10.7% (258 人) 男性:15.7% 女性:6.6% (H25 年度法定報告)	19.4% (489人) 男性:30.8% 女性:10.0% 10.8% (271人) 男性:17.2% 女性:5.4% (H27年度法定報告)	減少	
Ⅱ 度以上高血圧 以上の者の割合	5.3% (130人) 男性:6.1% 女性:4.6% (H25年度法定報告)	3.6% (90人) 男性:4.3% 女性:3.0% (H27年度法定報告)	減少	
HbA1c 値 8.4% 以上の者の割合	0.8% (20 人) 男性:1.3% 女性:0.5% (H25 年度法定報告)	0.7% (18人) 男性:1.1% 女性:0.4% (H27年度法定報告)	減少	
LDL コレステロ ール 160mg/dl 以上の者の割合	12.4% (304 人) 男性:10.1% 女性:14.3% (H25 年度法定報告)	10.3% (259 人) 男性:8.0% 女性:12.2% (H27 年度法定報告)	減少	